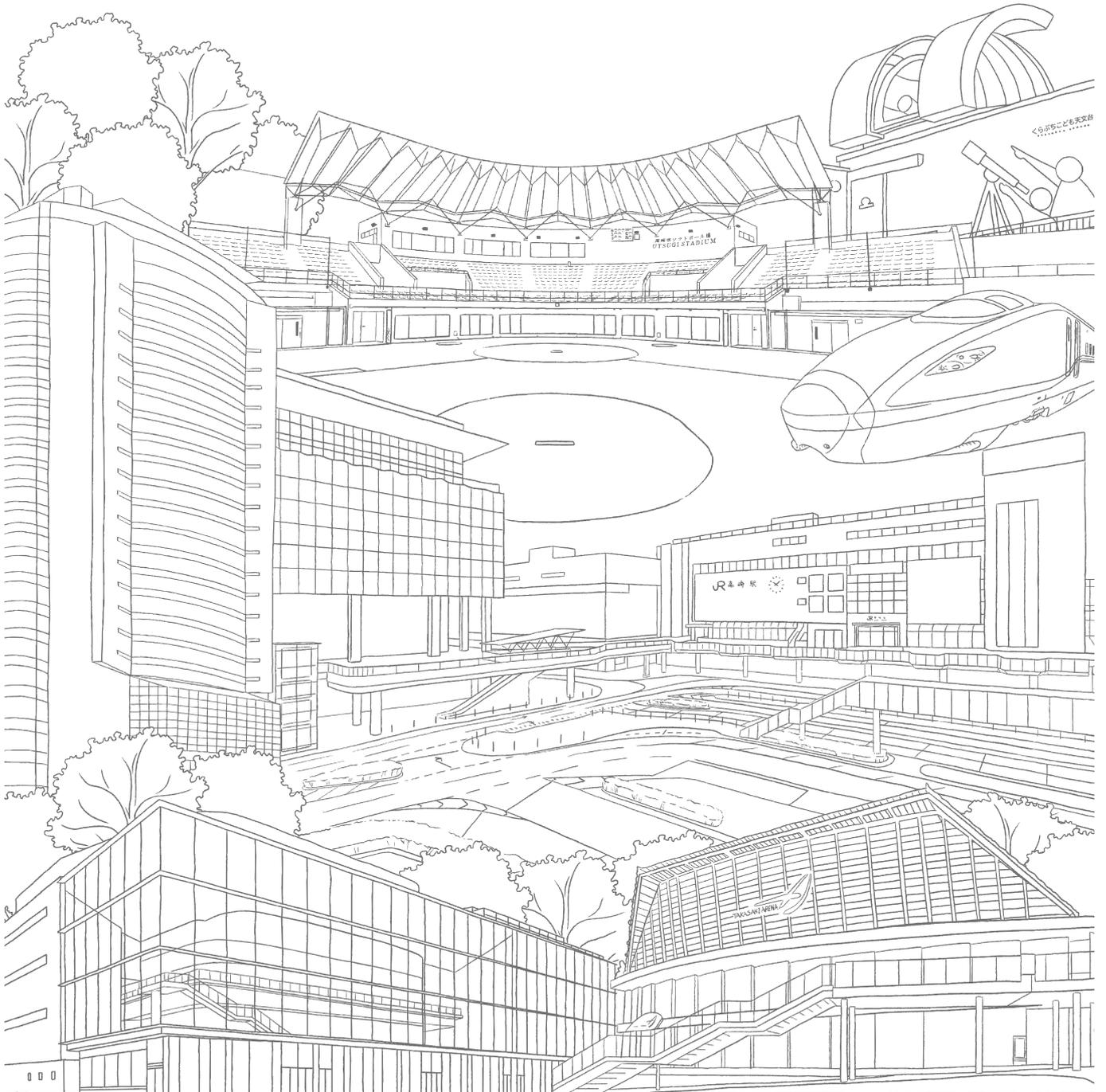


市勢要覧

高崎市

新しい高崎の姿
まち



高崎市市勢要覧 2020 Takasaki City Handbook 2020

contents

Theme01 文化が息づく街 The city where culture lives.	2	Theme04 変革を続ける都市力 The power of Takasaki City.	30
歓喜の歌で幕開け「高崎芸術劇場」 Takasaki City Theatre Begin with "Ode to Joy"	4	ビジネスの街・高崎を支える“ものづくり”のチカラ Supporting the business city of Takasaki The power of "monozukuri."	32
一流の芸術に出会い極上の感動を味わう Experience first-class art and ultimate excitement	6	移住者インタビュー 「高崎のほどよい規模は小商いにぴったり」 Interviews with people who moved to Takasaki "Takasaki's moderate scale fits small business perfectly"	34
インタビュー 群響ミュージック・アドバイザー 小林 研一郎さん Interview Gunma Symphony Orchestra Music Advisor Mr. Kenichiro Kobayashi	8	さまざまな“仕掛け”で“にぎわい”をまちなかに Making the city more "lively" using various "mechanisms"	36
創造力に満ちた芸術交流都市 A creative city of art and exchange	10		
Topics 群響楽団員の座談会 A discussion amongst the members of the Gunma Symphony Orchestra	12	Theme05 暮らしに心地良さを A city where everyone can live comfortably.	38
Theme02 スポーツの力、市民の力 The power of sports, the power of our citizens.	14	子育てインタビュー 「子育て世代の“あったらいいな”を本気でかなえる」 Parenting interview "I really want to give the child-rearing generation the things they wish for"	40
世界を沸かせるソフトボール王国「高崎」 The world's hottest spot for softball	16	次世代を担う子どもたちの“未来”と“可能性”を育む Takasaki's Advanced Educational Power	42
インタビュー 女子ソフトボール日本代表監督 宇津木 麗華さん Interview Women's Softball Japan National Team Head Coach Ms. Reika Utsugi	18	いつまでも住み慣れたまちで暮らす Live in a town you'll be happy to stay in forever	44
一人一人がアスリートに。スポーツが日常となるまち Each and every citizen an athlete Sports as part of daily life	20	災害などから市民を守る。もしもに備えた支援体制 Protecting citizens from disasters	47
Theme03 広がる高崎ブランド The power of Takasaki Brand.	22	Topics 千三百年前の高崎 Takasaki 1300 years ago	48
世界を目指す、高崎の農産物 Local corporation established in Singapore Bringing Takasaki agricultural products to the world	24	資料 Documents	
移住者インタビュー「倉渕で夢の農業を実現」 Interviews with people who moved to Takasaki "Achieving a dream of farming in Kurabuchi"	26	高崎の四季 Takasaki's four seasons	50
高崎ブランドの「うんまい！」をさまざまな手法で発信 Promoting Takasaki food nationwide Winner of world-class advertising awards	28	年表 Chronology	54
		統計 Stats	56
		主な施設 The main facilities in Takasaki City	60





Takasaki Marching Festival
高崎マーチングフェスティバル



Takasaki City Theatre
高崎芸術劇場



Street Music
ストリートミュージック

Theme 01

文化が息づく街

— The city where culture lives. —



The Gunma Symphony Orchestra

Nurtured by its citizens
Continuously producing art and culture

Takasaki, where citizen-led artistic and cultural activities flourish. Home to the Takasaki Marching Festival, the Takasaki Music Festival, and the Gunma Symphony Orchestra (GunKyo), a symbol of our art and culture. Amid Japan's post-war economic devastation, the Takasaki Citizens' Orchestra was founded by young music lovers. Its base, the Gunma Music Center, was built in 1961 thanks to donations from citizens. 58 years later, in September 2019, the Takasaki City Theatre was born. As GunKyo's new base, this cutting-edge hall also hosts performances of classical, pop, and other music.



市民が育んできたもの
芸術・文化を創造し続ける街

週末には若手を中心としたミュージシャンたちが、まちなかをステージに音楽を奏でる高崎では、高崎マーチングフェスティバル、高崎音楽祭、戦前から続く市民美術展覧会、高崎映画祭といった、市民主体のさまざまなジャンルの芸術・文化活動が盛んです。中でも地方オーケストラの草分け的な存在「群馬交響楽団」は、高崎の芸術・文化を象徴するもの。群響の愛称で、多くの人たちに親しまれているこのオーケストラは、戦後の荒廃の中で、音楽好きな若者たちによって産声を上げた高崎市民オーケストラがその始まり。以来幾多の苦境を乗り越え、地域に根差した演奏活動を続けてきました。1961年には、ときの市民による寄付にも支えられて、その活動拠点として群馬音楽センターが築かれました。それから58年の時を経た、2019年9月、「高崎芸術劇場」が誕生。クラシック、オペラ、ポップス、能・狂言、歌舞伎など、多彩な公演が可能となった最新鋭のホールは、新たな群響の活動拠点でもあります。これまでの歴史と精神を継承し、これからの高崎の芸術・文化が華開く場所となります。



ビューフェも備えた大劇場のホワイエ

国内最高水準の設備を兼ね備えた劇場

高崎芸術劇場は、大劇場、スタジオシアター、音楽ホール、3つの舞台、リハーサルホール、レッスンルームなどを備えています。最寄りの高崎駅からは、徒歩約5分という好立地です。東京、信越、北陸からは新幹線で直通。ペDESTリアンデッキも整備し、高崎駅から直接劇場へ向かえます。市民だけでなく、全国から聴衆が集まる、高水準の設備を備えたホールとなっています。高崎芸術劇場は、芸術文化を通じて、全国、海外の人々が交流する新しい拠点。高崎市が群馬音楽センターを通じて育んできた歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する大きな原動力となります。

CONCERT HALL



音楽ホール

群馬県内初となる本格的な音楽専用ホール。リサイタルや室内楽に最も適した412席の空間で、どの座席からも舞台が近くに感じられ、鑑賞のしやすさにも配慮。木の温もりを感じながら、極上の響きを堪能できる音楽空間です

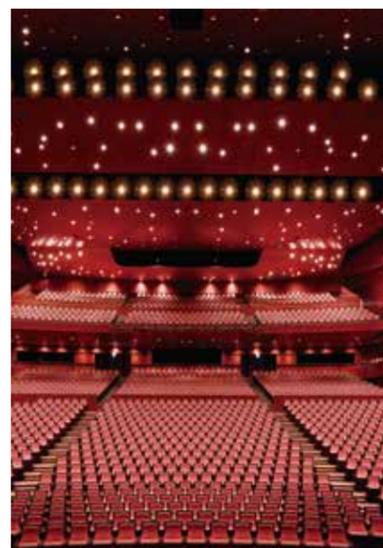
STUDIO THEATRE



スタジオシアター

舞台を3間、5間、7間と奥行きなどを変化させることができます。客席まで全てフラットにした平土間にも変更可能。イベントに合わせて自由な空間を演出。ロックコンサートなどのスタンディングイベントでは最大で1,000人が収容できます

GRAND THEATRE



大劇場

国内最大級の舞台を誇る多目的ホール。オーケストラはもちろん、オペラ、バレエ、ミュージカル、歌舞伎、ポップス、ジャズ、ロックなど幅広い音楽や舞台芸術を行え、劇場舞台機構、音響、照明も最新で高機能を備えています

Takasaki City Theatre Begin with “Ode to Joy”

Opened in 2019, the Takasaki City Theatre has a rehearsal hall and three stages: the Grand Theatre, the Studio Theatre, and the Concert Hall. The Grand Theatre boasts one of Japan's largest stages and highly sophisticated facilities. It can host a wide range of music and performing arts events. The Studio Theatre is a free performing space that seats up to 1,000 people, and the Concert Hall, the prefecture's first such full-scale facility, has excellent acoustics.

The Takasaki City Theatre is a new hub where art and culture unite people from around the country and the world. With the historical legacy of the Gunma Music Center, Takasaki will serve as a great driving force to create new culture.

多くの市民の祝福を受けた
劇場の門出。



2019年に開館した高崎芸術劇場。オープン記念演奏会では群馬交響楽団によって60年以上の長きにわたり演奏され続けてきた高崎市民にとって特別な曲「ベートーヴェンの『第九』」が奏でられました。ホール全体に響き渡った高崎第九合唱団の約300人と世界的なソリストらの力強い歌声。この日会場に集まった約4000人の市民らは新たな芸術文化の拠点の誕生を祝いました。演奏終了後にはスタンディングオベーションが沸き起こり高崎の音楽の歴史に新たなページが刻まれた瞬間となりました。

歓喜の歌で幕開け「高崎芸術劇場」



地元コミュニティラジオが高崎にゆかりのあるアーティストを招いて開催したトーク&ライブイベント



一流の芸術に出会い 極上の感動を味わう



イタリアから招聘した歌劇団による、大劇場でのオペラ「椿姫」の公演



鬼才ピアニスト イーヴォ・ポゴレリッチのリサイタル



サーカスとオーケストラが融合した「シルク・ドゥ・シンプニー」



スタジオシアターで行われた、個性派俳優が出演した演劇



全国でも珍しい吊り下げ式の屋根付き舞台の能舞台公演

Experience first-class art and ultimate excitement

The many unique events held since the Takasaki City Theatre's opening range from concerts by local artists and international performers alike, to spectacular performances in theatre, film, literature, comedy, and other fields. What kind of art will unfold on this stage? How will audiences react? We expect it will lead the culture and art of Takasaki to prosper, further developing the sensibilities of its people and causing the city to evolve.

**世界が集う場所で
ここにしかない芸術を創出**

高崎芸術劇場の開館以来、すでに多くの公演が行われています。世界最高峰のピアニスト、イタリアの名門歌劇場のオペラ公演など、世界で活躍するグループや演奏家の公演から、地元出身のアーティストのコンサートまで、高崎芸術劇場ならではの演目を実現。さまざまな芸術に親しんでもらおうと、音楽だけでなく、演劇、映画、文芸、お笑いなど多種多様な分野の見ごたえのある公演を展開しています。

「ホールは生き物です。高崎芸術劇場の音はまだ固い。これから公演を重ねていき、演奏者と観客、劇場スタッフで、この劇場ならではの音を作っていくのです」。高崎芸術劇場でタクトを振った指揮者が、群響の公演後に語った言葉です。

これから、この舞台で、どんな芸術が繰り広げられるのか、それを市民や聴衆がどう感じ応えていくのか。その過程で、高崎の文化や芸術活動がさらに盛んになり、市民の感性が磨かれ、まちの進化につながっていくことが期待されています。

インタビュー

群響ミュージック・アドバイザー

小林研一郎さん



The Gunma Symphony Orchestra

”演奏でつむぐ心の語らいが
未来をつくるんです“

Kenichiro Kobayashi

の音楽に対する情熱が、音楽のある街・高崎を進化させてくれる——
そんな期待に夢は膨らみます。

※取材日/2020年2月1日
組織名・肩書は当時のものです。

「炎のコバケン」の愛称で知られる世界的指揮者・小林研一郎さんが、2019年4月に群馬交響楽団（群響）のミュージックアドバイザーに就任しました。群響の新しい本拠地・高崎芸術劇場での演奏、音楽と子どもたち、これからの群響について話を聞きました。

まだまだ進化の途上 高崎芸術劇場×群響

「高崎芸術劇場は非常に良いホールですよ。でも、もっと素晴らしい音が響くはずですよ」。芸術劇場で初めて指揮を執った小林さんはこう振り返ります。クラシック専用ではな



く、多目的ホールの大劇場。ここで、どうしたら聴衆の心を打つ演奏ができるのか、それを群響と小林さんと日々、追及しているのです。「オーケストラは、天才の集まりです。天才の演奏は、ホールを凌駕します。できないのは、指揮者の責任」と言い切る小林さん。「9月の公演では聴衆からたくさんの拍手をいただきましたが、満足はしていません。観客全員が総立ちになる演奏が私の究極の狙いであり、願いです」。穏やかな笑みを浮かべながら、力強い口調で語ります。

ひたむきな演奏は 子どもたちに必ず届く

群響の活動の一つに群馬県内の小中学生を対象として、オーケストラに親しんでもらうために開かれる「移動音楽教室」があります。小林さんはそこで、演奏だけでなく、音楽にまつわる色々なことをざっくばらんに語り合いたいという思いを抱いています。

例えば、小林さんが幼少のころにベートーベンの第九を聞いて涙を流したことが、苦しいときは音楽から

力をもたらえるんだということ。「実は個人的に『移動音楽教室』という名称はあまり気に入っていないんですよ。観客が子どもたちでも、きちんと『演奏会』と呼ぶべきだと思っています」と話す小林さん。「子ども扱いしないで、ひたむきに演奏する。そうすれば、子どもたちは必ず耳を傾けてくれます。その中から、音楽を愛する人が生まれてくれると、うれしいですね」。

市民の応援で 群響を国内最高峰の水準に

「日本のオーケストラは東京や大阪など大都市に集中しています。そんな中、地方都市である高崎にとって群響の存在は本当に貴重です」。市民が公演に足を運び、地元企業からの応援が加われば、群響は輝きを一層増し、東京のオーケストラと肩を並べることができると小林さんは語ります。また、群響の活動だけに留まらず、市民が音楽に触れる機会をもっと増やせないかと小林さんは考えを巡らせています。

「高崎市の音楽監督という役割があれば受けてほしいですね」。小林さん

小林 研一郎/こばやし けんいちろう

1940年福島県いわき市生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科・指揮科の両科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞受賞。ハンガリー国立フィル、チェコ・フィルなど数々の海外オーケストラの日本公演や、日本フィルなどの海外公演を成功へと導く。2013年に旭日中綬章、ハンガリーでは大十字功労章（同国最高位の勲章）、ハンガリー文化大使など数々の勲章や称号が授与されている。現在、群響ミュージック・アドバイザー、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者や東京文化会館音楽監督などを務める。





ストリートライブin高崎どこもかしこも
北関東最大級の路上ライブの祭典。市内の20か所以上のステージでミュージシャンがさまざまな音色を奏でます。ゲストによるライブも開催



高崎おとまちプロジェクト
まちのにぎわいを創出しようと、プロ・アマ問わずミュージシャンに活動の場を提供。街角で行うストリートライブです



高崎マーチングフェスティバル
保育所・幼稚園児から高校生までの子どもが主役の祭典。国内外のトップバンドを招聘、子どもたちとの共演や指導も行われます



高崎映画祭授賞式
市民の力で始まった映画祭には毎年、映画界から多くの監督・俳優が集う一大イベントとなっています

創造力に満ちた 芸術交流都市

文化が息づく街

スポーツの力、市民の力

広がる高崎ブランド

変革を続ける都市力

暮らしに心地良さを

資料

「TAGO STUDIO TAKASAKI」は、高崎発の音楽「高崎サウンド」を世界へ発信していくことを目指す、全国的にも珍しい市営のプロ専用レコーディングスタジオです。これまでに、ロック、ポップス、ジャズなど、さまざまなジャンルのアーティストがレコーディング（録音）しています。アーティストには、市民向けの無料ライブの開催やSNSを使ってスタジオや高崎市をPRしてもらうなど、文化振興に貢献してもらっています。スタジオの2階は、ドリンクやクレープなどの販売も行っている市民ラウンジ。スタジオを利用したアーティストの作品が視聴できる他、キッズスペースもあるので親子連れでも気軽に立ち寄れる憩いの空間となっています。またスタジオでは、プロを目指す人たちの夢を応援しようと、これまでに全国オーディションを開催しています。

この他にも、まちなかを会場にアマチュアミュージシャンが楽曲を披露できるイベントが開催されています。こうしたさまざまなイベントをとおして、若者の夢を広げ、音楽人口を増やし、ブランド力を高めていく高崎の挑戦は続きます。

A creative city of art and exchange

The city is home to three well-known events with fans across the country: the Takasaki Film Festival, the Takasaki Marching Festival, and the Takasaki Music Festival. There is no other regional city in Japan whose citizens continuously hold such events. Tago Studio Takasaki is a municipally operated professional recording studio, a rarity in Japan. The artists who use it hold free concerts for citizens and promote the city on social media. Takasaki continues to strive to make young people's dreams come true and to increase the number of musicians and enhance its brand power.

高崎市には、全国的に知名度が高く、多くのファンが集まる、3大イベントがあります。有名な監督や俳優たちにも人気の高い「高崎映画祭」、国内外のトップアーティストと群馬交響楽団との共演も見どころの「高崎音楽祭」、市内の子どもたちや全国トップレベルのバンドが華麗なパフォーマンスを披露する「高崎マーチングフェスティバル」です。30年以上にわたり、こうしたイベントが市民の力によって開催され続けている地方都市は、全国的にもそうあるものではありません。

これらのイベントは、「音楽のある街高崎」「映画のまち高崎」として、高崎の都市ブランドを向上する原動力ともなっています。市民ボランティア、スポンサーとして応援する企業や団体を含め、他の都市にはない市民力、都市力が高崎にはあります。

**高崎サウンドを発信
人と音楽が交流するまち**

「TAGO STUDIO TAKASAKI」

個性的な芸術性 市民主導の3大イベント



TAGO STUDIO TAKASAKI MUSIC FESTIVAL
2016年と2019年に開催したアマチュアオーディション。伝説的ロックバンドを輩出した高崎ならではの取り組みです



タゴスタジオの校歌体験レコーディング
市内の小・中学生を対象とした体験学習。音楽を生み出す現場に触れることのできる貴重な機会です



音楽家たちの高崎暮らし 時間がゆっくり流れる街

高崎に本拠地を置く、群馬交響楽団。団員の皆さんは東京、奈良、大阪など全国各地から集まってきています。音楽家たちの目に、高崎はどう映っているのでしょうか？

地方にオケがあるのは 奇跡みたいなこと

「音楽のある街」は高崎のキャッチフレーズの一つですが、実際高崎で過ごしてみてどう感じていますか？

高崎 高崎は音楽がとても盛んな土地です。実際、市民オーケストラや学校の吹奏楽部に所属している人が、私のところにも個人レッスンを受けに来ていますね。37万人の地方都市にオーケストラがあること。日本で、これはもう奇跡に近いことだと思います。

奈波 私も同感です。定期公演も完売しますし…本当にすごいことです。棚田 高崎芸術劇場での初公演のとき、満員になった客席から大きな拍手を受けたときは思わずウルっとき



渡邊 信一郎 さん
ビオラ
首席奏者
東京都出身
2017年入団
Shinichiro Watanabe

ましたね。地元の人たちに愛されているオーケストラだと実感しました。西川 あとクラシック音楽に対して、とても親しみを持ってもらえると思います。公演の感想を直接伝えてくれる方もいますよ。

高崎は音楽に集中できる 時間がゆっくり流れる街

仕事をやる場所として、高崎の環境はどうでしょうか。

伊藤 とてもいい環境だと思います。時間がゆっくり流れていて音楽に集中できます。東京にはない、余裕があります。

渡邊 私もそう思います。都内のオーケストラに所属していたときは、予定を入れられるだけ入れて、余裕が全然ありませんでした。群



伊藤 文乃 さん
コンサートマスター
バイオリン
東京都出身
2009年入団
Ayano Ito

は好きですね。ああいう家に住みたい。

渡邊 私の住まいは東京で、東京と高崎で過ごし方がハッキリ分かれていますね。高崎では音楽モード。家ではまとまった練習の時間がとれないので、ひたすら楽器の練習に打ち込んで、体力維持のためプールに通っています。東京では、家庭モード。子どもの宿題やピアノとチェロの楽器の練習に付き合ったりしています。

オーケストラが もっと身近な街に

これからの高崎の音楽、群馬交響楽団についてどうお考えですか。

伊藤 群響を県内だけじゃなく、県外からもお客さんと呼べるオーケストラにしたいですね。



西川 智也 さん
クラリネット
首席奏者
大阪府出身
2017年入団
Tomoya Nishikawa



奈波 和美 さん
ファゴット
首席奏者
奈良県出身
2002年入団
Kazumi Naba

トラにしたいです。

高崎 高崎芸術劇場が新しくできて、音楽のまちとしても、もっと発展していくと思います。趣味としておススメですよ。楽器を演奏するって、本当に気持ちいい。音を出せば、日頃のうっぶんも晴れますよ。

奈波 私が留学していたドイツには130以上のプロオーケストラがありました。高崎よりもずっと小さな街にもオケがあって、みんな、すごく気軽にコンサートに行くんです。「今日は仕事終わりにオーケストラでも見るか」みたいなノリで。音楽をもっと身近なものにしていきたいですね。あともっと若い方に、オーケストラに親しんでもらいたいです。そのための企画も進んでいます。

今日はありがとうございました。

響の雰囲気も穏やかで気に入っていますよ。子どもを劇場まで連れてくる団員もいて、団員同士の子が仲良くなつて一緒に宿題をしている様子も目にします。ほかのオケでは見たことがないです。

都会と自然が調和する都市

生活する場所としての評価はどうですか。

棚田 休日はゴルフだったり、楽団の友人とバイクでツーリングに行ったりしています。高崎駅の周りではないの物はそろいますし、少し足を伸ばせば自然がすぐそこにある。

西川 団員で駅前に飲みに行きますけど、東京ほど値段が高くもないし、適度に空いていて快適ですね。

奈波 あと、高崎は子育てしやすい



高崎 智久 さん
オーボエ
首席奏者
静岡県出身
2007年入団
Tomohisa Takasaki



棚田 和彦 さん
トロンボーン
首席奏者
富山県出身
1991年入団
Kazuhiko Tanada

街だと思っています。中学生まで医療費が無料です。新幹線なら東京まで1時間というのも、演奏会や美術館に行くのに便利です。

高崎でのお気に入りの過ごし方などはありますか。

高崎 自宅(高崎市内)の周りに田んぼが広がっていて、すごく景色がいいんです。それを眺めながら1時間みっちり散歩するのが日課です。いい運動になります。

西川 駅の周りがある、お蕎麦屋さんやカフェに一人が入ってゆっくりすることですね。東京のお店より席の間隔が広いし、お客さんもほど良い人数です。あと、駅の近くに美術館がいくつかあるのでたまに行きます。その中でも市美術館の旧井上房一郎邸ですが、あそこの雰囲気



▲ウズベキスタン新体操チームに手ほどきを受ける市内子どもたち

◀バレーボールの国際大会に沸いたアリーナ

トップアスリートのプレーに
夢を抱く高崎の子どもたち

男子バレーや女子レスリング、新体操などの主要な国際大会に世界各国から人々が集まることで、高崎アリーナ周辺はぐっと国際色が増し、まちに新しい風を吹かせています。その経済効果はさることながら、子どもたちの目の輝きという計り知れない大きな宝物も生み出しています。各大会で市民優先席を設け、世界トップレベルのプレーや技を間近で見るチャンスを広く提供。さらに、

国内屈指のアクセスと設備で東京五輪各国代表の合宿を誘致して、世界トップアスリートと市民の活発な交流を実現させました。子どもたちはナショナルチームとの合同練習や文化交流などを通じて、アスリートの技術や人柄などを背中から学びとっています。そして、かけがえない機会を得た高崎の子どもたちは「自分も同じ舞台へ」と憧れのその先の大きな夢へと進み始めています。



Takasaki's children dream big

Since opening in April 2017, the Takasaki Arena has hosted many international sporting events and concerts, attracting people from all over the world. Every match has priority seats for citizens so they can watch the world's best playing and techniques up close. They can also interact with athletes from around the world at the Tokyo Olympics training camp hosted by the city. The children of Takasaki will dream about being on the same stage someday.



Theme 02

スポーツの力、市民の力

— The power of sports, the power of our citizens. —

2017年4月の高崎アリーナオープン以来、数々のスポーツの国際大会や人気アーティストのライブが行われ、県内外のみならず世界各地から多くの人が高崎を訪れるようになりました。東京から新幹線で約50分かつ高崎駅から徒歩8分という好立地と、スポーツの国際大会規格に対応した設備から、今や国内屈指の会場として世界中のアスリートから選ばれています。一方、市のミニバス大会や上毛かるた大会などの会場にもなっており、市民の熱気とにぎわいが集まる場所としても支持されています。





アスリートからの直接指導を受けるソフトボール教室



トップ選手のプレーを
間近で体験できる



世界を沸かせる ソフトボール王国「高崎」



憧れの選手が身近にいる ソフトボールの聖地

スタジアムの愛称は、高崎から世界へと活躍したソフトボール界の象徴である宇津木妙子・麗華両氏にちなんでいます。全国的にも数少ないソフトボール専用競技場であり屋内練習場も完備。女子日本代表のホー

ムグラウンドにも選ばれ、代表強化合宿では雨天時も充実したトレーニングが行われました。今後も第二球場などソフトボール施設が集積する一大拠点が整備される予定で、「ソフトボールの聖地」として発展し続けていきます。

また、トップ選手たちは試合での活躍に加え、子どもたちへ魅力を広める活動にも尽力。学校への訪問授業や、市内各地でのソフトボール教室などを通じて、ソフトに打ち込む小中学生チームから未経験の子まで、多くの子どもたちにソフトボールの楽しさを伝えていきます。子どもたちにとって憧れの選手による直接指導は、多くを学び感じることができ、貴重な機会となっており、高崎のソフトボール文化を着実に育んでいきます。

The world's hottest spot for softball

Company League Women's Softball. Home to two of Japan's best teams, BicCamera Takasaki and Taiyo Yuden. Opened in June 2019, the softball venue Utsugi Stadium hosts international tournaments where you can experience the world's best playing up close. There are plans for a second field and other facilities to build up the stadium area and continue to develop Takasaki as the holy land of softball.

2019年6月にソフトボールシティ高崎のシンボルとなる専用球場「UTSUGI STADIUM」が井出町にオープン。日本代表合宿や国際大会などが行われ、世界トップレベルのプレーがさらに間近に体験できるようになりました。

実業団女子ソフトボール日本屈指の強豪、ビックカメラ高崎と太陽誘電の2チームが本拠地を置き、切磋琢磨してきた高崎。日本代表選手も多く輩出し、高崎ゆかりの選手たちの国際舞台での活躍は、大きな感動と勇気を市民に与えてきました。そして、

ソフトボール専用球場「UTSUGI STADIUM」がオープン



スタジアムの始球式に参加する、宇津木妙子さんと宇津木麗華さん

インタビュー

女子ソフトボール日本代表監督

宇津木麗華さん



”子どもたちが夢を、
大人には元気をくれる。
高崎のソフトボール。”

Reika Utsugi

2020年の女子ソフトボールチーム日本代表を率いる宇津木麗華監督は、1988年に北京から来日し、ビックカメラ高崎(旧日立高崎)に入団。以来、高崎を中心に活動してきました。宇津木さんに高崎市とソフトボールの今とこれからについて話を聞きました。

市民が驚きワクワクする世界レベルのプレー

「高崎は、常以上のレベルを目指している場所です」。宇津木麗華さんは、高崎のソフトボールについてこう話します。ビックカメラと太陽誘電、強豪2チームが高崎に本拠地を置き、常に良い緊張感を保ちつつ、切磋琢磨しています。

東京オリンピック直前の強化合宿にも、2チームから10名以上が強化指定選手として選出(2020年1月現在)。高崎市のレベルの高さを示しています。「日本のソフトボールは、世界で1位、2位を争います。その日本国内で一番レベルが高いのが高崎だと思います」と、宇津木さん。世界の強豪4か国が集まっ

たJAPAN CUPや国内リーグなど、目の前で展開される世界最高峰のプレーに市民は驚き、声援を送り、元気をもらっています。

高崎からソフトボールの頂点へ

宇津木さんは全国を回り、ソフトボール教室などで小学生や中学生に指導することも多い。そこで比較しても群馬県はレベルが高いそうです。「高崎出身の選手もビックカメラと太陽誘電に何名か入団しています。高崎でソフトボールを頑張れば、世界トップレベルの選手になれる、そう希望を抱いてプレーしてもらいたいですね」と宇津木さん。「オリンピックが終わった後は、小中学生への指導を強化して、高崎のレベルをさらにアップさせるつもりです」と続けて話します。

高崎で世界選手権開催もソフトボール界をリード

高崎市は2019年6月にUTSUGI STADIUMを新しくオープン。「全面人工芝ですごくプレー

しやすいですね。野球場並みの人工芝球場は日本にはほとんどありません。ソフトボール専用球場なので、ピッチャーズサークルも平坦で、投球しやすいです」と実際に使用した感想を話します。将来的に球場は第4球場まで整備され、世界選手権も開催できる。世界中の人が高崎を訪れ、高崎とソフトボールを知ってもらう機会になるはずだ。

多くの人にソフトボールを好きになってほしい

宇津木さんはソフトボールをさらに広めるためのアイデアも考えている。「例えば、未就学児向けのソフトボール教室や、スピードガンによる球速測定体験などで、プレーヤーの裾野を広げていきたいですね」。実は群馬県内には60代以上のシニアチームも数多くあるそうで、ソフトボールは小学生からシニアまで、ずっと続けることのできるスポーツだという。高崎はソフトボールに熱狂する都市として、日本のソフトボール界をリードしていくでしょう。

※取材日/2020年1月8日
組織名・肩書は当時のものです。



宇津木 麗華/うつぎ れいか

1963年6月1日生まれ。中国・北京市出身。中国代表として活躍し、宇津木妙子さんとの出会いから88年来日、95年日本国籍取得。現役時代は内野手で日本代表の主砲、主将として活躍し、シドニー五輪銀メダル、アテネ五輪銅メダル。2003年に日立&ルネサス高崎(現ビックカメラ高崎)の選手兼任監督就任。04年に現役引退後は11年から15年まで代表監督を務め、12、14年の世界選手権優勝。16年11月、再び代表監督就任。群馬女子短大を聴講生として卒業。高崎市在住。「世界中の都市に行きましたが、高崎が一番好きです。30年前、中国から日本に来たときから、高崎の方はあたたかい。日立高崎時代には、同僚の家にごはんを食べに行ったり、お泊りに行ったりしていましたね」とも話してくれました。



湖がスイムコースとなる「榛名湖リゾート・トライアスロンin群馬」



近くに温泉や天文台がある天然芝仕様の倉渕サッカー場



UTSUGI STADIUMの隣には「清水善造メモリアルテニスコート」を整備



高崎の土地柄を生かした
スポーツイベントの数々が、
市民のチカラで実現。

関東平野の北部に位置し
上毛の山々に囲まれた高崎市は
その地形・自然や風土を生かして
さまざまなスポーツを日常的に楽しめる
環境が整っています。
2013年にはじまり
今や国内有数の
自転車ヒルクライムレースとなった
「榛名山ヒルクライム高崎」は
初心者から上級者まで
幅広く楽しめるコース設定が自慢。
市内外から6500人超が参加する
人気の自転車イベントです。
5月の新緑に囲まれた榛名山の
急坂をサイクリストが爽やかに
疾走する姿が
多く見られるようになります。

一人一人がアスリートに。 スポーツが日常となるまち

ステージは豊かな自然 充実したスポーツ環境

榛名山では、日本陸上競技連盟公認フルマラソン「榛名湖マラソン」や、湖がスイムコースとなる「榛名湖リゾート・トライアスロンin群馬」などの大会を毎年開催。風光明媚な高原の美しさとは裏腹の厳しい環境でのレースがスポーツ愛好家たちを魅了しています。市民ボランティアや地元協力店による高崎らしさ満載のおもてなしや、沿道からの声援も大きな魅力です。
また2018年には、標高400m超の倉渕地域の雄大な自然に囲まれた「倉渕サッカー場」がオープン。天然芝グラウンドでの各種スポーツ、林道を駆け抜けるトレイルランコースなど、豊かな緑と清涼な空気の中で、市民は汗を流しています。
今後さらに、高崎市出身のテニスの偉人の名を冠し、国内トップクラスの設備を誇る「清水善造メモリアルテニスコート」や、榛名湖温泉とともに楽しむグラウンドゴルフ場などが開設予定。幅広い世代のたちがスポーツに親しめる場所が市内各所に誕生していきます。

Each and every citizen an athlete Sports as part of daily life

Surrounded by the mountains of Gunma, Takasaki's natural features and geography make it the perfect environment for sports. Mt. Haruna holds hill climbs, marathons, triathlons, and other competitions. The Kurabuchi Soccer Stadium opened in 2018 in amid the Kurabuchi area's nature. There are also plans for golf course grounds, hot springs, and the Shimizu Zenzo Memorial Tennis Court, with some of the country's best facilities.

Takasaki's agriculture is booming! Supporting the hard working farmers

In the rich natural environment of Takasaki City, production of various agricultural and livestock products is thriving in each region. The city subsidizes costs such as for product development, equipment purchases, and leaflet creation to support the hard working farmers. In 2017, the product store "TAKASAKI JIMAN" was opened in a large commercial facility at the west exit of Takasaki Station. It was created as a way to secure new distribution routes for producers and to raise consumer awareness of excellent products.



Theme 03



— The power of Takasaki Brand. —

広がる高崎ブランド

高崎産の農畜産物や加工品をもっと多くの人たちに知ってもらおうと、市は平成25年から、プロモーション活動に力を入れています。全国に、そして世界にメイド・イン・タカサキの「うんまいもん」が広がりをを見せています。

高崎の農業が熱い! 農家の6次産業化を応援

榛名・箕郷地域の梅、群馬地域の国府野菜や国分になじん、倉淵地域のはんでえ米など、自然豊かな高崎市では地域ごとに多彩な農畜産物の生産が盛んです。市内には、こうした生産品の6次産業化やブランド化を目指す、頑張る生産者が多くいます。市では2011年から、高崎産の農畜産物を地元や首都圏などで広く消費してもらう「地産多消費推進事業」を継続。その一環として補助金制度を用意し、6次産業化を目指す市内の農家を応援しています。この制度では、商品開発や事業拡大にお



【農業者を支援する制度】

高崎市では、農畜産業のさらなる活性化を目指し、新たな取り組みに挑戦する生産者を応援するための補助金制度を設けています。

6次産業化推進事業補助金

生産から加工・流通・販売までの総合的な取り組みに対して交付される補助金。商品開発費用や宣伝費用などにも活用できる

ブランド商品開発事業補助金

地域に適した新品種の導入や新商品開発のために導入する設備、PR活動に対して交付される補助金

高崎農業の将来を考える研究会補助金

高崎市の農業の将来について調査・研究活動を行う団体に対して交付される補助金

地元農畜産物消費拡大事業補助金

地元の農畜産物やその加工品の消費拡大を目的に、物産展やマルシェなどのイベントに出店する団体に交付される補助金

市内産農畜産物販売拡大奨励金

首都圏などにおける消費拡大を図るため、高崎産の農畜産物を取り扱う小売店に対して交付される奨励金

ける設備購入費、施設の建設・改修費、商品パッケージやリーフレット制作といった販売促進費などを支援。ある果樹園では、ドライフルーツ製造用に低温熟成乾燥機を購入したり、果物を主役にしたジェラートショップを開店したりと、補助金が、新たな加工品の製造・店舗販売の実現を後押ししています。

2017年には、市と高崎観光協会が駅前の大型商業施設内に物産店「高崎じまん」を出店。生産者の新たな流通ルートの確保と同時に、市民に優れた地元の産品を知ってもらうきっかけにもなっています。





**農産物の本格的な輸出に乗り出す
多彩なプロモーション活動**

2019年8月、市はシンガポールへの農産物の輸出を本格化させるため、現地法人「高崎トリニオン」を設立しました。

市は2016年から、将来的な成長が見込めるシンガポールの市場に注目し、現地百貨店のフェアや博覧会で農産物の売り込みを開始。日本の総合博覧会「ジャパンパークシンガポール」では現地企業と共同で梅おにぎりを開発し、旅行博覧会「NATAS Travel Fair」ではジャンボ梨の試食を振る舞うなど、多彩な催しで来場者の心をつか

んできました。高崎市とシンガポールを舞台に撮影した映画「家族のレシビ」に出演したシンガポールの人気女優、ジネット・アウさんを高崎PR大使に任命。SNSでの発信やシンガポールでのイベント参加など高崎市のPRに役かっています。シンガポールの百貨店では、1個8000円近くするジャンボ梨が200個完売するなど、地道な活動が実を結びつつあります。

市内でも海外展開への意識は高まり、生産力アップや海外向けパッケージデザイン制作に取り組む農家が増えています。ゆくゆくは、海外で農産物の評判を高め、都内の高級百貨店への逆輸入を目指しています。

Local corporation established in Singapore Bringing Takasaki agricultural products to the world

Takasaki City has established a local corporation "TAKASAKI TRINNION" in Singapore, the center of the Asian economy, with the aim of expanding overseas sales channels for fruits, vegetables, and processed products. It supports exports from Japan, business negotiations, and promotion activities aiming for expansion throughout Asia. In the future, in cooperation with JETRO Gunma, which was established in 2018, it will also focus on further support such as directly introducing overseas buyers to producers in the city and making connections with farmers. TAKASAKI TRINNION aims to increase the reputation of agricultural products overseas and reimport them to high-end department stores in Tokyo.

世界を目指す、 高崎の農産物



シンガポールに現地法人を設立 高崎の農産物を世界へ

高崎市は果物や野菜、加工品の海外での販路拡大を目指す。アジア経済の中心都市・シンガポールに現地法人「高崎トリニオン」を設立しました。この新たな現地拠点、輸出や商談の支援、宣伝活動を担い、アジア全体への展開を目指していきます。今後は、2018年に開設された、ジェットロ群馬とも連携し、市内の生産農家などに海外のバイヤーを直接招いて、農家とのマッチングを行うなどの支援にも力を入れていきます。



「倉淵で夢の農業を実現」

移住者インタビュー

となみ農園

利波 浩樹さん・尚子さん

「となみ農園」は高崎市の西部、標高1449mの榛名山の山麓に位置しています。利波さん夫妻は就農のために県外から倉淵に移住し、ハウレンソウやトマトの有機栽培を軌道に乗せ、さらにオリジナルの加工品の開発にも意欲的です。

となみ農園では、中玉トマトを低温でじっくり乾燥させたドライベジタブルや、ハウレンソウパウダーを開発。有機野菜を気軽に楽しめます。

利波浩樹さん 尚子さん
夫の浩樹さんは富山県出身。大学院でナノテクノロジーを研究していたが、自分の作ったものを自分で食べる、シンプルな暮らしがしたいと考え、農業の道へ。妻の尚子さんは新潟県出身で、倉淵への移住を機に、別の仕事から農家になりました。

自給自足の生活に憧れて

浩樹さんは富山県出身、大学院で精密工学を研究していましたが、自給自足のライフスタイルに憧れ、卒業後は農業を志したそうです。農業現場で勉強したいと高原レタスで有名な長野県川上村に住み込みで働き、夢に向かって第一歩を踏み出しました。

倉淵の就農プログラム「離農者ゼロ」が決め手

肥料づくりなども学びながら、就農を具体的に考えたとき、くらぶち草の会（CHECK1）の就農支援プログラムを薦められたそうです。就農プログラムは全国各地で行われていますが、「以前、新聞記事で倉淵では就農後、離農者がいないことが紹介されていたことが決め手となりました」と浩樹さんは話します。

農業技術が向上 充実した倉淵ライフ

2007年に倉淵に移住。一年間の研修を終え、くらぶち草の会の

あつせんで倉淵地域に家と農地を借りて、野菜生産をスタートしました。自身でビニールハウスを建て、有機農法のハウレンソウを栽培。尚子さんと結婚後は、力を合わせて農業に取り組んでいます。「スムーズにスタートできました」と浩樹さんと尚子さんは口をそろえます。

工夫を重ねて技術も向上、ハウスの棟数も増え、質の高いハウレンソウを安定して生産できるようになりました。「出荷のときには、既定の重さまで、ハウレンソウを袋に詰めています。以前はたくさん束ねて入っていたのですが、今は大きく育つよ

うになり、少ない本数で出荷できるようになりました。味も甘くなりましたよ」と、浩樹さんは話します。くらぶち草の会の共同出荷に加え、新たな出荷先を開拓。高崎駅前の大型商業施設にも、となみ農園の野菜が並んでいます。

となみ農園ブランドで倉淵の魅力発信

「有機栽培のハウレンソウはとても人気があります。出荷作業はママ友に手伝ってもらっています」と尚子さ

CHECK 1 「くらぶち草の会」
榛名山の西麓、標高400~900mの「準高原」地域にあり、農業や化学肥料に頼らない野菜作りに取り組んでいる生産者団体です。新規就農(新規参入)の支援を行っており、他産業からの新規就農者も多くいます

CHECK 2 「高崎市6次産業化等推進事業補助金」
市内で生産された農畜産物の新商品の開発と、その加工から販売までを行う取り組みに対する経費を補助する制度です





絶メシリスト

古き旨き高崎グルメを紹介! 絶メシリスト

キーワード (店名・料理・地名) 🔍

29 清仁軒

介のラーメン食べ歩き青年が、時の名店「清華軒」で修行して「継承者」になった話

28 トムソン

スガカレー
祖父は「群馬の上巻」を盛り上げた元祖ハイパーメディアクリエイター? 「食える喫茶店」の知られざる歴史

27 うかい亭 一花

極上エビフライに極厚どんかつ 超人気店だけど職人がいない! 経営者夫妻が本気で後継者募集

高崎ブランドの「うんまい!」を さまざまな手法で発信



◀ 絶メシリスト



農チューブ高崎▶



Promoting Takasaki food nationwide Winner of world-class advertising awards

Takasaki City exhibits at large-scale food events, such as in the Tokyo metropolitan area, under the name "Takasaki Lucky Restaurants" so that people can actually taste the deliciousness of Takasaki food. The exhibits are so popular that there are long lines for the famous pasta and grilled manju.

The city's information site, "Red Restaurants List," which introduces exquisite gourmet restaurants that have been loved by citizens for many years, has received a great response. It has been highly acclaimed internationally, including winning the Bronze Award in the media category of the "Cannes Lions International Festival of Creativity," one of the world's three major advertising awards held in France in 2019.



農業初心者2人が全力で高崎の農家を盛り上げる

「絶メシ」ブームが起きています。2019年にフランスで開かれた、世界三大広告賞の一つ「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル」のメディア部門で銅賞を受賞するなど、国際的にも高く評価されています。また、高崎市内の農家にスポットを当て、若手俳優が農業の楽しさを動画で発信する「農チューブ高崎」を開設。市内の農畜産物や農家の魅力を余すところなく紹介しています。



ウェブで発信の「絶メシ」 世界レベルの広告賞受賞

市民に長年愛され続けている絶品グルメ店を紹介する、高崎市の情報サイト「絶メシリスト」が大きな反響を呼んでいます。老舗名物店の閉店が身近に起こっていることを実感させ、誰もが共感し、語り合える話題として全国へと広がりました。掲載店には県外からも観光客が訪れ、

高崎の食を全国にPR

高崎市は、高崎のおいしさを実際に食べて体験してもらおうと、首都圏などの大規模な食のイベントに出展しています。「開運たかさき食堂」と銘打ち、赤を基調にした縁起の良いデザインの店舗でPR。名物の高崎パスタや焼きまんじゅうに長蛇の列ができるほどの人気ぶりです。高崎の名所として知られる白衣大観音や縁起物の高崎だるま®も紹介。また、市内の和洋菓子店の銘菓を紹介する「高崎スイーツフェア」を首都圏で展開しています。女性を中心に大勢の来場者が訪れ、好評を博しています。

Theme 04



都市の装置がまちを、そして人々を変えていく。



The bustle around Takasaki Station is rising The ability to attract customers expected of a business city

According to a national survey, Takasaki City ranks 14th nationwide in commercial sales. It may be said that it is a "business city" with strong commercial power. In addition, according to a regular survey conducted by the city, the traffic volume around the west exit of Takasaki Station has increased in recent years. Many people come from outside the city to enjoy shopping and walks around the city center. With the opening of the Takasaki Arena and Takasaki City Theatre and the holding of various events, the city has become one where people from all over the world gather.

います(右頁グラフ参照)。特に駅西口界隈が増えています。市内外から多くの人たちが訪れています。

高崎駅東西には大型商業施設が立ち並び、各施設を結ぶペDESTリアンデッキも整備され、ショッピングやまち歩きを楽しめる環境が整っています。都市の装置ともいえる高崎アリーナや高崎芸術劇場の開館で、世界から人々が集まるまちとなりました。中心市街地で通年開かれていくさまざまなイベントと相まって、大きなにぎわいが生まれています。



まちなか回帰

変革を続ける都市力

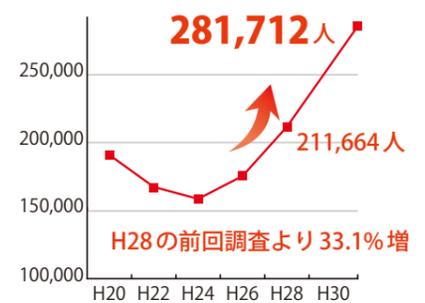
高崎は都市機能と自然が調和した街です。
その魅力を、移住してきた人の声と街なかのにぎわいから読み解きます。

— The power of Takasaki City. —

平成26年に国が公表した商業統計によると、高崎市の商業売上高は、全国で14位。高崎は、政令指定都市と肩を並べる商業力を持つ「ビジネスの街」でもあります。

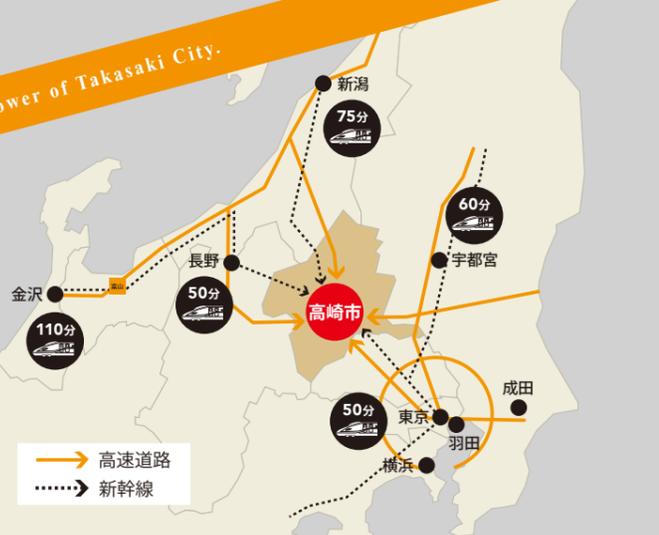
市が定期的に行っている中心市街地の通行量調査では、平成30年には、平成28年の前回調査と比較して7万48人、33.1%の増加となっています。

■ H30 中心市街地通行量調査 (延べ人数)
・ 中心市街地42か所
・ 10月28日午前10時～午後8時



高崎駅を中心ににぎわいが上昇中
ビジネスの街に期待される集客力





**東日本屈指の流通拠点
アクセス抜群の工業団地**

高崎市は本州の中央に位置し、関東、上信越、北関東自動車道の3本の高速道路が通り、上越、北陸新幹線の2本の新幹線が集中する国内有数の内陸拠点です。この立地を生かして、高崎駅から約7km東に位置する、関越自動車道の高崎玉村スマートインターチェンジ付近に、「高崎スマート・C産業団地」を整備。金

高崎市は、市内企業の海外販路の開拓や、ビジネス機会の創出を支援する「高崎ものづくり海外フェア」を2014年から、アジア経済の中心都市シンガポールなどで開催しています。日本の都市が単独で海外商談会を開くケースは珍しく注目を集めています。また、東南アジア全域から製造業関係者が集まる国際展示会「インダストリアル・トランスフォーメーションアジア・パシフィック（I-TAP）」にも出展し、市の優れた製造技術をPR。参加者からは、「中小企業1社では海外の展示・商談会への参加は難しい。貴重な機会です」という声や「具体的な取引の話ができた」という声も。

また、JR高崎駅直結のビルに、2018年、ジェット口群馬貿易情

国際展示会や駅直結の「JETRO高崎から海外市場へ」

属加工、食品製造など多くの企業が進出しています。また、スマートインターチェンジから2km西の地点に新たに「高崎354複合産業団地」を整備。ビジネスの街としてさらに進化を続けています。

**Supporting the business city of Takasaki
The power of “monozukuri.”**

Takasaki, located in the center of Japan's main island of Honshu, is one of the leading inland bases where three highways and the Shinkansen train line pass through. A new industrial park has been developed, and many companies such as metal processing and food manufacturers are expanding into the area. Since 2014, overseas fairs have been held to develop overseas sales channels and create business opportunities. As this city of business continues to evolve, the distance to overseas markets is steadily shrinking.



廃棄物の焼却装置を造る企業は、乾溜ガス化燃焼方式による廃棄物燃焼装置を世界で初めて開発。ダイオキシン類の発生を抑制し、環境保全にも貢献。欧米やアジアで特許を取得

**ビジネスの街・高崎を支える
“ものづくり”のチカラ**



電子部品を主に扱う企業は、通常の光無線通信に比べ、通信速度が約10倍速い、LEDによる高速通信技術を独自に開発。ノイズや悪天候に強く、監視カメラの通信網などに使われている



市内の事業者が手掛ける水冷式の空調などで循環する水をきれいにする製品「CMファイバー」。省力化にも有効で、環境への意識が高い海外でも注目を集めている



自動車部品を製作する企業は、ターボチャージャーなど、形状が複雑なため製造・加工が難しい物でも、大小さまざまな大きさを作る技術を持つ



機械・油圧プレス機の専門メーカー。写真は世界最大級を誇る製品で、厚さ最大100mm、長さ最大13.5mの鋼板で巨大な部品を作ることができる

「高崎のほどよい規模は 小商いにぴったり」

CHECK

「まちなか商店リニューアル事業補助金」

商売を営んでいる人、または営もうとする人が、「店舗等の改装」や「店舗等で専ら使用する備品の購入」を行うことに対し、100万円を限度に、その費用の2分の1を助成します

落ち着いた雰囲気店内。席と席との間隔も広く、ゆったりとした気持ちで過ごすことができる。女子高生からマダムまで、お客さんの層も幅広い

café 紅うさぎ
住所：群馬県高崎市相生町20
営業時間：11:00～17:00
定休日：毎週水曜・木曜

「Café 紅うさぎ」は、横浜市で雑貨店を経営していた中原さんご夫妻が高崎市に移住し、2015年にオープンしたお店。看板メニューのカツサンドやパンケーキ、お店のゆったりとした雰囲気が人気です。高崎市で起業した5年間について話を聞きました。

café 紅うさぎ

移住者インタビュー

中原陽さん・富美子さん

文化が息づく街

スポーツの力、市民の力

広がる高崎ブランド

変革を続ける都市力

暮らしに心地良さを

資料

地価は横浜の約5分の1 店舗兼住宅でカフェをスタート

「新しい人に会って、新しいことにチャレンジする、それがとても楽しいです」。café 紅うさぎを営む中原富美子さんは、生き生きと話します。

「高崎でお店を始めて本当に良かったと思います。起業するならば、まず東京、仙台、博多など、大都市が思い浮かびますが、競争が激しく、土地代も高額です」と話すのは、富美子さんの夫の陽さん。中原さん夫妻は、当初、雑貨店を経営していた横浜で場所を探しましたが、店舗兼住宅で駐車場付きという条件に合う土地は見つかりませんでした。

ちのような小商いに、ぴったりの土地です」と陽さんは話します。
「ほどよい」とはどういう意味か、陽さんはこう説明してくれた。「食材流通、住宅、造園、店舗サイン・設計など、パートナー企業がそろっています。そして、大都市ほど競争が激しくない」。

また、中原さんは「まちなか商店リニューアル事業補助金」(CHECK)など市の支援制度を利用しています。「所得制限などの条件もなく、とても利用しやすいですね」と陽さん。

「高崎では人に恵まれました。このあたりの方は、適度な距離感で世話を焼いてくれます」と富美子さん。あるデザイン会社の社長には、デザインだけではなく、いろいろな

した。そこで候補に挙がったのは、友人が住んでいて花火大会などで何度か訪れていた高崎市でした。横浜市と比べると地価は5分の1ほど。これが決め手となり、高崎への移住を決めたそうです。「高崎とは特別な深い訳では無かったのですが、「えい！」と飛び込んできた感じ。5年経った今考えると、思い切ってやってみる、そうしないと見えないことも多いですね」と富美子さんは話します。

人口37万、ほどよい規模で 市の制度やパートナー企業も充実

「高崎は、ほどよい、規模の街です。大きな利益を目指さない、私た

困りごとを相談しているそう。」高崎でお店をやって本当に良かったと思いますよ」と富美子さんは笑顔で話します。「今日、そんな言葉が聞けるとは思わなかったよ」と陽さんが笑いかけます。



注文を受けてから生地をつくるパンケーキ。ふわふわ食感がたまりません。中原さん夫妻共通の趣味「食べ歩き」から生まれたオリジナルメニューです

空き家事務所・店舗改修助成金

空き家を改修し、事務所や店舗を新たに営業する場合、500万円を限度に改修費用の2分の1を助成します

ポイント

- 空き家対策をビジネスの創出につなげています
- 風情ある古民家や商店などを活用し、まちの景観を向上

Making the city more “lively” using various “mechanisms”

Takasaki was hailed as a place to go if you want to see old Edo. Although the city has changed with the times, it has seen many people come and go in its development. Nowadays, “urban functions” are being developed around Takasaki Station, “mechanisms” for people to gather are being launched, and the number of people in the city is increasing. “Shop Gururin Taxi” that goes around the shopping streets, and the “Taka-chari” bicycle service. “Takasaki City Machinaka Shoten Renewal Grant Business” that supports the creation of attractive stores. Various mechanisms are creating a new flow of people in the city of Takasaki and a lively atmosphere.



**元気なお店×タクシー&自転車
新しい人の流れが生まれる**

高崎駅西口から歩いて10分ほどの榎町。その一角に、家庭的な定食を中心に、ちよい飲みできるレトロな「榎食堂」があります。市の空き家対策制度を利用して、築約90年の古民家を改修し、開業しました。市外から食へにくるお客さんもいるそうです。また、市は店主を支援するため、店舗の改装や備品の購入に最大100万円を補助する「まちなか商店リニューアル事業」なども行っています。

さらに、まちなかの回遊性を高め、新たなにぎわいを創出するため、新しい移動手段を考案。その一つが「お店ぐるりんタクシー」です。駅前から駅西口周辺の商店街を毎日巡回しています。無料で乗り降り自由、誰でも利用できます。もう一つが登録不要で誰でも利用できる、無料のまちなかコミュニティサイクル「高チャリ」です。専用のサイクルポートが高崎駅や市役所、図書館、大型商業施設などに設置され、百円を入れて貸し出し。ポートに自転車を返却すると百円が戻る仕組みです。こうした仕組みが、高崎のまちなかに、新たな人の流れをつくり、にぎわいを生み出しています。



事前登録不要で、誰でも使える無料の「高チャリ」は、まちなかの移動手段として市民に定着している



高崎駅西口から中心市街地を巡る「お店ぐるりんタクシー」は、誰でも無料で利用できる気軽な交通手段。駅前のにぎわいを周辺の商店街に広げる取り組みの一つ

**市民の新しい足とお店支援で
まちなかに新たな人の流れ**

「お江戸見たけりや高崎田町」とうたわれた高崎。まちは時代とともに形を変えながらも、多くの人が行き交い、発展してきました。中心市街地の衰退や人口減少問題などにより、地方都市は元気がないイメージですが、高崎市は駅を中心に「都市機能」の整備が進んでいます。多くの人が集まる「仕掛け」も打ち出され、まちなかに人が増えてきています。まちなかの商店への支援や空き家対策、新たなまちなかの移動手段の創出などの取り組みを紹介します。

Theme 05

暮らしに心地良さを

子育て世代から高齢者まで、誰もが心地良く暮らすために。
利用者目線の、高崎市独自の取り組みを紹介します。



A city where everyone can live comfortably A town that provides social support for the child-rearing generation

Takasaki City is undertaking various initiatives from the citizen's perspective so that everyone from the child-rearing generation to the elderly can live comfortably. The "Kosodate Nandemo Center" is a base for child-rearing support that provides support from pregnancy to child-rearing and reemployment. A "Child-rearing SOS Service" where helpers rush to the aid with a single phone call, "Childcare for sick children/childcare after illness" for sick children, and "Medical expense subsidy assistance" for children up to graduation from junior high school. Takasaki is promoting the creation of a town that is perfectly suited to those who want to raise children.

子育てSOSサービス



電話一本ですぐに対応。
ヘルパーが自宅へ訪問。

子育てで手いっぱいになり家事まで手が回らなくなったとき、「誰かと話をしたい」「疲れてしまった」と感じたとき、子育てSOSサービスが力になります。ヘルパーがもく浴、授乳などの手伝いや、料理や掃除などの家事全般を行うサービスです。利用の対象者は市内に住んでいる、妊娠中の人か未就学児の保護者です。ヘルパーの訪問は、利用者が在宅している間に限られます。訪問の費用は1時間250円、電話相談は無料です。

子育てなんでもセンター

出産から再就職の悩みまで
子育てをトータルサポート。

妊娠期の不安や、子育ての悩み、再就職の相談などを一括して受け付け、支援につなげる拠点です。保育所・幼稚園探しにも力を入れており、市内の幼稚園・保育所・認定こども園の園長が日替わりで来所し、入園相談をすることができます。また、求人情報の提供や、一人ひとりの「ライフプラン」を視野に入れた就労相談を実施。併設の託児施設に、子どもを預けて面接や就職説明会に出かけることもできます。



子育て世代を社会で支える。

子どもの医療費助成扶助

子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう、医療機関を受診した際、保険診療の自己負担分と入院時の食事療養費の標準負担額を市が助成（無料になる）制度です。中学校卒業までの子どもが対象です。

病児保育・病後児保育

「子どもが病気になって保育所や幼稚園に登園できないけど、どうしても仕事を休めない」。そんなときに頼りになるのが、病気の子どもの預かる「病児保育」と、回復期の子どもを預かる「病後児保育」です。2020年現在、市内に6か所あります。



子育て応援 高崎の保育支援

保育所入所を 通年で受け付け

これまで年に2回だった保育所の申し込みを、通年で受け付けています。また、預ける保育所が決まらない保護者の不安を解消するため、入所の可否を原則2週間で回答しています。

育休中でも姉・兄を 継続して預けらる

出産後、育休中の保護者が家にいても、すでに保育所に入所してる姉・兄も継続して入所できます。上の子の再入所の心配を解消し、保護者の負担を減らす取り組みです。

ワンストップで課題解決 「子育てなんでもセンター」

「高崎は子育てにやさしいまちで、本当にラッキー」というのが実感です。中でも、まちなかにある『子育てなんでもセンター』は週3、4回利用す



高崎駅から徒歩圏内にある「子育てなんでもセンター」

小澤 沙弥香さん

県外出身で、都内の企業に勤める小澤さん。2児の母で、現在は育休中です。子育て支援施設や、医療・保育制度など高崎市は子育て世代へのサポートが充実していると言います。まちなかで買い物をしたり郊外の公園に出かけたり、高崎での子育てライフを満喫する小澤さんにお話を伺います。

小澤 沙弥香さん

千葉県出身。2児の母で、都内の企業に新幹線通勤をしています。現在は育休中。高崎駅で同じく新幹線通勤のママ友と出会う「お疲れ様」と挨拶を交わすこともあったそうです。



「子育て世代の “あったらいいな”を 本気でかなえる」

子育て世代を応援する 先進的な取り組み

高崎市では、中学3年生まで所得にかかわらず医療費が無料です。病院の窓口にも「福祉医療費受給資格者証」を提示するだけなので、領収書の管理や後で申請手続きをするといった手間がなく、申請もれの心配もありません。通院が頻繁になりがちな子育て世代の負担軽減は、大きな安心につながっています。

また「第2子を妊娠すると、第1子は保育園を退所しなければならぬ」という自治体が多い中、高崎市で

子育て世代にうれしい 身近な憩いの場や豊かな自然

「高崎駅周辺は大型商業施設があり、買い物するのにとても便利。そして、車で烏川を渡ればすぐに、観音山をはじめ自然の豊かさを感じられる場所が広がって、子育てにも最適な環境です」。

小澤さんのお気に入りの一つが、観音山公園にある「ケルナー広場」。子どもの冒険心を駆り立て、危険を回避する能力や身体能力・体力を向上させる遊具を設置。ハラハラ・ドキドキしながら思いっきり遊べると評判です。

また、安産・子育ての宮として知られている山名八幡宮の中にあるカフェは、ママたちが子どもを遊ばせながら、気兼ねなく食事やお茶の時



カラフルな遊具が揃う観音山公園のケルナー広場。夏にはプールエリアも開放され、多くの親子連れでにぎわう。

間を楽しめると、お気に入りの場所となつていきます。

「高崎駅0番線からレトロな車体の上信電鉄に乗って5番目の山名駅を降りてすぐの所にあるので、電車好きの息子は大好き。路線に鉄橋があつて川を渡る景色の変化も新鮮です。また、電車といえば、高崎アーリーナの隣にある小さな公園は、機関車や在来線、新幹線が見られる絶好のビュースポット。複合遊具もあつて、小さな子どもたちを安心して遊ばせることができます」と、高崎の暮らしを子どもたちと一緒に楽しんでる様子が伝わってきます。

まちの身近な相談窓口



高齢者あんしんセンター

「待つ福祉から出向く福祉へ」を合言葉に始まった「高齢者あんしんセンター」。市内に29か所あり、お年寄りの日常的な困りごとから介護サービスなどの専門的なことまで、幅広く受け付け、支援する相談窓口です。保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門資格を持った職員が、専門性を生かしながらサポートします。窓口や電話はもちろん、自宅へ伺って相談を受けたり、一人暮らしの高齢者を定期的に訪問したりと、今までにない「出向く福祉」を実践しています。

◀ハートが目を引く統一デザインの車を配備

もしもに備える仕組み

高齢者等あんしん見守りシステム

ボタン一つで助けを呼べる通報装置と安否確認センサーの無料設置で不測の事態に24時間対応します。



配食サービス

365日・朝昼晩の3食に対応し、栄養バランスの良い食事を届けます。受け渡し時に安否確認も行います。

はいかい高齢者等救援システム

小型GPS機器を無料で貸し出し、機器を携帯した高齢者が行方不明になった場合に位置を特定して、迅速な救援が可能です。



通報装置(上写真)と安否確認センサー(左写真)。センサーは多くの時間を過ごす居間の壁などに設置

Live in a town you'll be happy to stay in forever

To meet the needs of today's super-aging society, there are twenty nine "Senior Citizen Relief Centers" to care for the concerns of the elderly and their families. Detailed support is provided through "social welfare visits" to actively visit elderly people's homes. Services such as responding to unforeseen circumstances 24 hours a day and delivering nutritionally balanced meals are provided. It's a town where you can live like someone familiar in your area.

いつまでも 住み慣れたまちで暮らす



自分らしく暮らすお年寄りを応援
”出向く福祉”できめ細かに

超高齢社会の今、高崎市でも単身や高齢者だけの世帯が増えています。そこで誰もが抱える悩みや不安を受け止めるのが、市内29か所にある「高齢者あんしんセンター」です。日常の困りごとから介護の専門的な相談まで幅広く受け付け、住み慣れた地域でその人に一番合った暮らし方ができるように支援を提案します。また、窓口で待つのではなく、積極的に高齢者宅をまわる「出向く福祉」で、きめ細かな支援を行っています。

災害などから市民を守る。もしもに備えた支援体制。

安心・安全な地域社会を築くため、医療の充実、災害に強いまちづくりに力を入れています。



危険箇所総点検

大雨による水害や土砂災害、地震災害への備えとして、平成26年から、市内の危険箇所を総点検しています。河川や水路、傾斜地、地下道など危険性の高い場所を点検。改修工事や障害物の撤去など早急な改善を行っています。



救急救命体制の強化

救急患者のたらい回し「ゼロ」を目指し、救急医療体制を強化しています。医師や空きベッドの不足などに対応するために医療機関への補助を実施。救命医が現場に出向くドクターカーの運行などにも支援しています。



緊急応援隊

避難が必要になったとき、自力で避難することができない市民は誰でも、高崎市の災害専用電話(☎027-321-5000)に電話すれば、公用車やバスが迎えに行く体制を整えています。大雪などの降雪時には市職員による緊急応援隊が、除雪作業を実施します。



高齢者の暮らしを支える

おとしよりぐるりんタクシー

「おとしよりぐるりんタクシー」は、予約不要で、自由に乗り降りできる無料の巡回タクシーです。高崎市内でも高齢化率の高い倉渕・榛名・吉井の3つの地域で、決められたルートを巡回。高齢者や障害のある人などの移動の支援を目的にしたもので、全国でも類を見ない取り組みです。高齢者の外出を後押しし、介護予防にもつなげます。



高齢者の家族を支える

介護SOSサービス

介護が必要な高齢者と一緒に暮らす家族や介護者の手助けとなる高崎市独自の取り組みです。介護のプロによる見守り・食事・介助などの訪問サービスと短期の宿泊サービスを、リーズナブルな料金で提供。介護認定や利用のための登録手続きは不要です。24時間、電話一本で対応。家族の私用やリフレッシュのために利用してもらうことで、お年寄りも周りの人も笑顔で暮らせる長寿社会を応援しています。

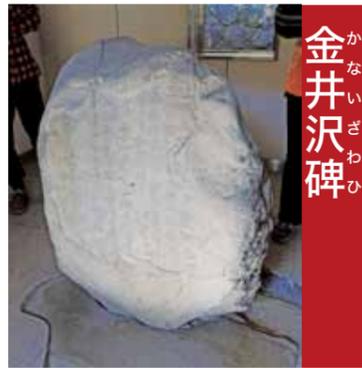


Protecting citizens from disasters

Every year since 2014, comprehensive inspections of dangerous places in the city have been carried out. Immediate improvements such as repair work and removal of obstacles is also undertaken. Takasaki is strengthening its emergency medical system. The city is working to shorten transportation times for patients and solve the problems of shortages of doctors and vacant beds. A system has been built in which public cars and buses can pick people up in the event of an evacuation due to a typhoon or heavy rain. For help with snow removal, there is an emergency support team made up of city officials that can help.

上野三碑から何が分かる？

人々の信仰や、婚姻の習慣、行政制度など古代の実像が見えてくる。



金井沢碑
かないざわひ

726年建碑。碑の文中に9人の人名があり、そのうち4人は女性です。結婚後も実家の氏の名で呼ばれていたこと、子どもたちと共に実家の先祖祭祀に参加していることから、家族のつながりに女性が大きな役割を果たしていたことが伺えます。群馬という地名が表された県内最古の史料でもあります。



多胡碑
たごひ

711年に中央政府からの命令で上野国に14番目に建てた「多胡郡」の記念碑です。それまであった3つの郡を6つの郷に割り、新たに多胡郡を設置したこと、権威付けのため当時の政府首脳の名が刻まれています。『続日本紀』との記述も一致し、古代の地方行政の様子が伺えます。



山上碑
やまのうへひ

681年、放光寺の僧・長利が、母の黒売刀自の供養と自身の顕彰として建立。当時の寺院は現在の大学に近い場で、長利は相当の知識人でした。また、碑文は全て漢字で書かれていますが、日本語の語順で読むことができます。現在につながる日本独自の漢字の使用法が確認できる非常に重要な史料です。

守り伝えられた古代の記憶

大和を中央政府とした古代国家が完成するのが飛鳥・奈良時代。この頃から国家創成の過程を中国にならぬ文字で記録するようになりました。行政区分についても中国を参考にし、ある地方のもっとも大きな区分を国、その下を郡、里と決めました。「金井沢碑」にある上野国※2、群馬郡下賛郷高田里という住所からは、奈良の飛鳥から400 km以上離れた高崎まで中央の統治が及んでいた様子が分かります。

また、「山上碑」を建てた長利は、佐野三家という中央政府と強く結びついた名門の出です。この地域の豪族が当時の先進思想である仏教に帰依したことが分かります。さらに「多胡碑」からは、先進的な渡来系技術が根付いた工業地帯を治めていたのが「羊」と呼ばれる渡来系の人物だったことも推定されます。多くの古代の記録が失われた中、守り伝えられた上野三碑。地方行政制度のあり方、古代豪族の婚姻や氏とのつながり、仏教思想の広がりなど多くのことを伝える、古代東国史の一級史料といえるでしょう。

Registered in UNESCO's "Memory of the World Programme" World-renowned 1,300 year-old ancient stelae

The Yamanoue, Tago, and Kanaizawa stelae that still exist in Takasaki City were registered in UNESCO's "Memory of the World Programme" in 2017.

The three stone stelae built during the Asuka and Nara periods are collectively called The Three Stelae of Kozuke. The culture of building stone monuments featuring text was brought from the Korean Peninsula and China. It can be seen that knowledgeable migrants were involved in regional management and that they were highly cultured at that time. It can be said that this is a first-class historical source of ancient Eastern history that conveys the ideal state of the local administrative system, the marriage of ancient powerful tribes and connections between them, and the spread of Buddhist thought.

こうずけさんび ～上野三碑と多胡郡～ 古代最先端都市の跡。



半径1.5km内に古代の石碑が密集

上野三碑と呼ばれる石碑、その全てが多胡郡に立っています。古代において「文字を刻んだ碑を建てる」ことは最先端の文化事業でした。石碑が密集した多胡郡は、豊かな文化や高度な技術が根付く土地だったのです。

多胡郡(吉井町近辺)の全景と上野三碑

ユネスコ「世界の記憶」に登録 世界が認めた千三百年前の古代碑

高崎市に現存する上野三碑と呼ばれる3つの古代碑が、2017年にユネスコの「世界の記憶」※1に登録されました。

上野三碑は、いずれも「多胡郡(現在の高崎市吉井町近辺)」に所在し、飛鳥・奈良時代に造られました。多胡は渡来人(「胡人」)が多く住んだ土地でした。文字を駆使し、石碑を建てる文化は、飛鳥時代に朝鮮半島や中国からもたらされたもので、渡来人の知識層が地域経営に関わっていたこと、当時の日本の中でも高い文化レベルであったことが伺えます。

日本国内で現存する古代碑・石塔はわずか18例、そのうち3つが高崎市内の半径1.5 km以内に位置しています。三碑の集中は、歴史的に極めて特筆されます。このような重要性から、いずれも国の特別史跡に指定されています。

※1 世界遺産、無形文化財に並ぶユネスコ主催の3大遺産事業の一つです。古文書や書物などの歴史的価値のある記憶物を保存、後世に引き継ぐことが目的。ゲーテの直筆文学作品やアンネの日記などが登録されています。

※2 上野国は、現在の群馬県



榛名湖リゾート・トライアスロン



高崎まつり



ぐんま「はにわの里」夏祭り



吉井どろんこ祭り

- 6月** 吉井どろんこ祭り【吉井町多比良】
高崎バル【中心市街地】
環境フェア【もてなし広場ほか】
- 7月** みさとホテル祭り【箕輪小学校北側・蛭峰園】
新町七夕まつり【新町駅前通り・銀座通り】
箕郷ふるさと夏祭り【ふれあい公園】
吉井ふるさと祇園まつり【吉井文化会館周辺】
榛名湖リゾート・トライアスロンin群馬【榛名湖畔】
ぐんま青空マルシェ【群馬支所特設会場】
- 8月** 榛名の祭り・花火大会【榛名湖畔】
高崎まつり・高崎山車まつり・大花火大会・技能祭
【もてなし広場ほか】
ぐんま「はにわの里」夏まつり【上毛野はにわの里公園】
新町ふるさと祭り「山車まつり・神輿まつり」(隔年開催)
【新町駅前通りほか】
榛名ふるさと祭り商工花火大会【烏川公園】
新町ふるさと祭り「花火大会・灯ろう流し・盆踊り大会」
【烏川総合グラウンドほか】
高校生バンドフェスティバル【新町文化ホール】
観音山ろうそく祭り万灯会【慈眼院】
くらぶちの夏祭り【倉淵支所】
はるなの梨まつり【榛名ロッジ前】

summer



観音山の桜



高崎映画祭



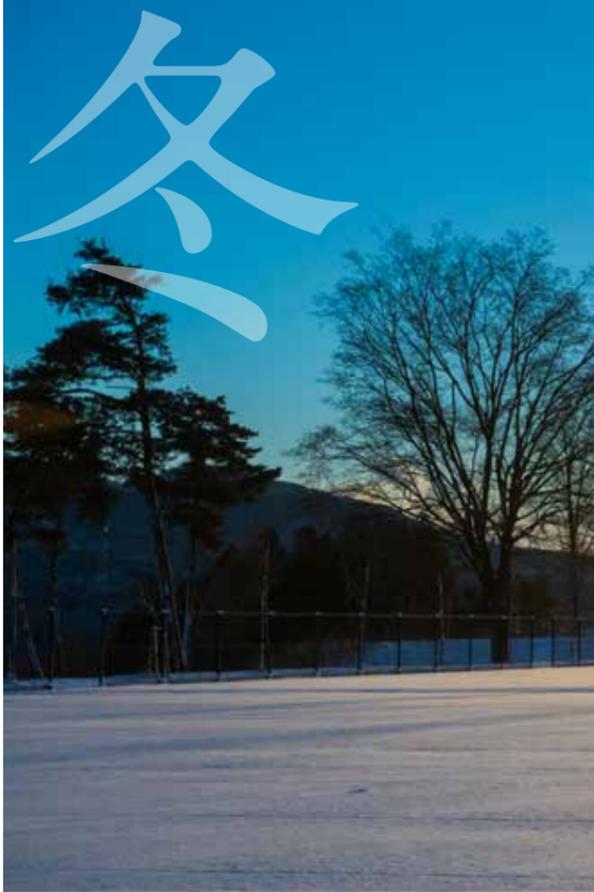
しんまち桜まつり



榛名山ヒルクライムin高崎

- 3月** 上野三碑一般公開【多胡碑記念館ほか】
はるな梅マラソン【榛名文化会館】
みさと梅まつり【箕郷梅林】
榛名梅まつり【榛名文化会館】
カタクリ咲いたまつり【小串カタクリの里】
高崎映画祭【群馬音楽センターほか】
- 4月** しんまち桜まつり【自衛隊新町駐屯地内】
たかさき春まつり【もてなし広場・観音山】
鼻高展望花の丘 菜の花まつり【鼻高町】
みさと芝桜まつり【箕郷町松之沢】
たかさきスプリングフェスティバル
【高崎市役所庁舎前広場・群馬音楽センター】
森とオーケストラ【群馬の森】
高崎商都博覧会【高崎駅周辺デパート】
ぐんま青空マルシェ【群馬支所特設会場】
- 5月** 榛名山ヒルクライムin高崎【榛名山】
幽玄の杜音楽会【榛名神社】
高崎市民美術展覧会【高崎シティギャラリー】
小栗まつり【東善寺】

spring



榛名湖イルミネーションフェスタ



高崎HANABIコンクール

ニューイヤー駅伝



高崎だるま市

- 12月** 新町イルミネーション【新町駅前通り】
国府白菜祭り【JAはぐくみ】
ぐんま青空マルシェ【群馬支所特設会場】
榛名湖イルミネーションフェスタ【榛名湖畔】
- 1月** 高崎だるま市【高崎駅西口駅前通り】
高崎元旦コンサート【高崎芸術劇場】
ニューイヤー駅伝【高崎市役所ほか】
初詣【榛名神社ほか】
牛伏山ご来光【牛伏山展望台】
消防隊出初式【もてなし広場】
どんど焼き【市内各地】
たかさき絵本フェスティバル【高崎シティギャラリー】
- 2月** 高崎HANABIコンクール【倉渕支所】
多胡碑マラソン【吉井運動公園】
NPOボランティアフェスティバル
【高崎市市民活動センター・ソシアス】
タカサキダンスフェスティバル【群馬音楽センター】
新町ひなまつり【新町行在所ほか】

winter



かみつけの里古墳祭り



どこもかしこも

たかさき雷舞フェスティバル



箕輪城まつり

- 9月** ストリートライブin高崎どこもかしこも【中心市街地】
たかさきキッズパーク【高崎市総合保健センター】
緑日広場【高崎シティギャラリーハローフォーラム】
ぐんまジャズフェスティバル【はまゆう山荘】
鼻高展望花の丘 コスモスマつり【鼻高町】
榛名湖マラソン【榛名湖畔】
高崎音楽祭【群馬音楽センターほか】

- 10月** たかさき能【群馬音楽センター】
みのわの里のきつねの嫁入り【箕郷支所周辺】
たかさき雷舞フェスティバル【もてなし広場ほか】
美スタイルマラソン【もてなし広場ほか】
鎌倉街道武者行列【城南小学校区】
高崎マーチングフェスティバル【高崎アリーナほか】
かみつけの里古墳祭り【上毛野はにわの里公園】
上野国分寺まつり【上野国分寺跡】
榛名ふるさと祭り【榛名支所前広場】
箕輪城まつり【箕輪城跡】
高崎ハロウィン【高崎駅西口周辺】

- 11月** 烏川溪谷ロードレース大会【倉渕町】
高崎菓子まつり【もてなし広場】
しんまち商工祭・大道芸まつり【いちょう並木通り】
吉井秋まつり【吉井交危険直周辺】
キングオブパスタ【もてなし広場】
えびす講市【中心市街地】
農業まつり【もてなし広場】
新そば祭り【榛名山町】
たかさき光のページェント【中心市街地】

autumn

時代 元号 西暦

出来事

800万年
110万年前
50万年前
22万年前
4万年前

前関東山地側が隆起し海だった高崎市域が浅瀬になった
榛名山付近に火山活動があり、火砕流で高崎市域一帯が覆われた
岩野谷(観音山)丘陵と高崎市域平野部がはっきりとしてきた
マグマが噴出して榛名山の活発な活動が始まった
榛名山の山頂部で大噴火があり、火口原湖の榛名湖となった
榛名山が活動を再開する

市内の縄文時代(中期)の遺跡から出土した土器などの遺物に他地域のものが多く見られることから、関東エリアや日本海側と交流していたことがうかがえる
日高遺跡に大規模な環濠集落を見ることが出来る
3世紀後半に浅間山が大噴火し、軽石で日高遺跡が覆われた

東日本随一を誇る古墳群馬馬の中で、高崎市は最多の2741基が記録され、639基が現存。中国魏から卑弥呼に贈られたものと同じ型の三角縁神獣鏡が古墳時代前期の柴崎町蟹沢古墳から出土。古墳時代中期になると、墳丘全長171.5mの浅間山古墳など巨大な前方後円墳が数多く築造された。古墳からは中国や朝鮮半島との交流を示す副葬品が数多く出土している。古墳時代中期の三ツ寺1遺跡・北谷遺跡で大規模な首長居館が造営。保渡田古墳群中の前方後円墳3基はその首長の墓とみられている
榛名山が2回にわたって大噴火した
山上碑建立(放法光寺僧長利が亡き母供養のため建立)
大宝律令が完成し全国支配の体制が整えられた



榛名湖



保渡田古墳群



正始元年銘三角縁同向式神獣鏡(国立博物館所蔵)

天武10年
大宝元年

681
701

江戸時代

元禄8年
天明3年
寛政5年
文久元年
文久2年

1695
1783
1793
1861
1862
1864
1868
1869
1871
1872
1876
1877
1881
1884
1889
1895
1899
1900

大河内輝貞が高崎藩主となる
浅間山の大噴火。大飢饉が起こる
岩鼻陣屋(代官所)を設置
皇女和宮・高崎城下を下向
御伝馬事件が起こる
高崎藩が下仁田戦争で水戸浪士の天狗党に敗れる
小栗上野介が水沼河原(現在の倉沢町)で斬首される
版籍奉還により高崎藩主大河内輝貞が藩知事となる。五万石騒動が起こる
廃藩置県で高崎藩は高崎県となる。第1次群馬県が成立し県庁が高崎の旧城内に置かれる
旧高崎城内が兵部省の管轄となる。東京高崎間に郵便馬車会社が開業
第2次群馬県が成立。県庁が高崎に置かれ安国寺が庁舎となる
新町に官宮系紡績所開業
県庁が前橋に決定。高崎住民が県庁の高崎移転を嘆願
陸軍歩兵第十五連隊の創設。上野・高崎間の鉄道が開通
町制施行により高崎町となる。宮元町に役場を置く。初代町長に矢島八郎就任
高崎商業会議所設立(高崎商工会議所の前身)
群馬県尋常中学校群馬分校(県立高崎高校の前身)が開校
上野鉄道(現上信電鉄)の高崎・下仁田間が全通
群馬県高等女学校(県立高崎女子高校の前身)開校
高崎市制施行。宮元町に庁舎を置く。初代市長に矢島八郎就任。戸数5924戸、人口3万2467人
高崎市内初の映画館「電気館」が開館
関東大震災。高崎まで避難し救護の対象となった延人数は8万2千400人に及んだ



2代目市役所



小栗上野介忠順の墓

明治時代

大正2年
大正12年
昭和4年
昭和11年
昭和20年
昭和27年

1913
1923
1929
1936
1945
1952



白衣大観音建立

第1回えびす講廉売市が開かれる
城南野球場が球場開き。白衣大観音建立
高崎が空襲を受ける。アジア太平洋戦争が終わる。
高崎市民オーケストラ(群馬交響楽団の前身)が発足
新日本高崎こども博覧会を観音山で開催

飛鳥～奈良時代

和銅4年
神亀3年
天平勝宝8年
天平宝字3年
天仁元年

711頃
726
756
759
1108

多胡碑建立(多胡郡が置かれ上野14郡となる)
金井沢碑建立(三家氏に関わる氏族が先祖供養と一族繁栄のため建立)
この頃上野国分寺が建立された七重塔は高さ約60mと推計され、1998年(平成10年)に高さ100mの高崎市役所現庁舎が完成するまで群馬県史上で最も高い建築物とされていた。
浅間山大噴火
八幡荘など有力な荘園が形成され、武士団が力を蓄える
源頼朝が東国武士団に参陣
新田義貞が八幡荘で越後、甲斐の武士団と合流、鎌倉へ上り幕府を滅ぼした



上野国分寺七重塔復元模型



金井沢碑



多胡碑



山上碑

和銅4年により和田城が築城されたこと伝えられている
長野氏が榛名山南麓で勢力を拡大し、箕輪城を築く
武田信玄の攻撃により箕輪城が落城
織田信長家臣滝川一益が箕輪城に入城。本能寺の変後、戦国期の関東最大の合戦とされる神流川合戦で一益が北条氏邦に敗れる。箕輪城が北条氏の支配下になる
井伊直政が徳川家康の命令により箕輪城に入城し、12万石を領す
井伊直政が箕輪城より和田城に移り、和田を高崎と改め、町の区割りを行う
3代将軍家光の弟・忠長が高崎城内で自刃。大信寺に墓所
落合村と笛木村が伝馬役を命じられ新町宿となる
田町に絹市場を設置



郭馬出西虎口門

室町～戦国～安土桃山時代

元禄3年
承安3年
寛永10年
慶長3年
天正18年
天正10年
永禄9年
永正年間
正長の頃
応永・

1690
1654
1633
1598
1590
1582
1566
1504
1394
1429
1429

高崎市役所庁舎が高松町に新築移転
高崎経済大学が開学
市内初の工業団地「八幡工業団地」造成
市制60周年、水道創設50周年、群馬音楽センターの落成記念式典
高崎・前橋間のバイパスの開通
高崎卸商業団地が完成
第1回高崎ふるさと祭り開催(昭和60年に高崎まつりに改称)
上越新幹線大宮・新潟間開通
高浜クリーンセンター操業開始
第1回高崎マーチングフェスティバル、高崎音楽祭開催
シンフォニーロード開通。高崎シティギャラリーの開館
ラジオ高崎開局。市内循環バスぐるりん運行開始。長野新幹線開業
高崎市役所新庁舎開庁
高崎市制施行100周年記念式典
特別市に移行
1月に高崎市、倉沢村、箕郷町、群馬町、新町が合併。10月に高崎市と榛名町が合併。
高崎市総合福祉センター開館
6月に高崎市と吉井町が合併
中核市に移行。高崎市総合保健センター・中央図書館開館
高崎玉村スマートIC開業。道の駅「くらぶち小栗の里」開館。上信電鉄佐野のわたし駅開業
高崎アリーナ開館。子育てなんでもセンター開館。上野三碑がユネスコ「世界の記憶」に登録
くらぶち英語村が開村。倉沢サッカー場開場
くらぶちこども天文台開館
高崎市ソフトボール場が開場。高崎芸術劇場開館

昭和時代

昭和29年
昭和32年
昭和34年
昭和36年
昭和41年
昭和42年
昭和50年
昭和57年
昭和63年
平成2年
平成6年
平成8年
平成10年
平成12年
平成13年
平成18年

1954
1957
1959
1961
1966
1967
1975
1982
1988
1990
1994
1996
1998
2000
2000
2001
2006

平成時代

令和元年
平成31年
平成30年
平成29年
平成26年
平成23年
平成21年
平成20年
平成19年
平成17年
平成15年
平成14年
平成13年
平成12年
平成11年
平成10年
平成9年
平成8年
平成7年
平成6年
平成5年
平成4年
平成3年
平成2年
平成元年

2019
2019
2018
2017
2014
2011
2009
2009
2000
2000
2001
2006



高崎芸術劇場開館



高崎市制施行100周年記念式典



上越新幹線大宮・新潟間開通

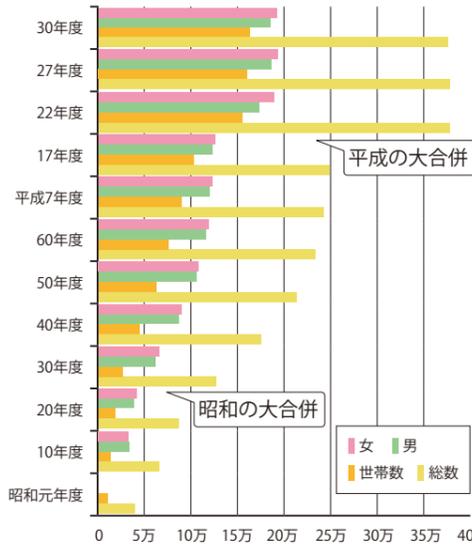


高崎前橋間のバイパスが完成

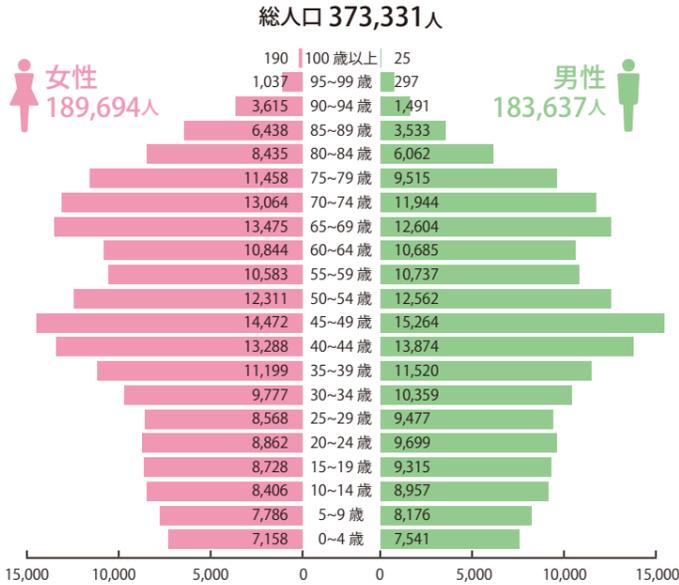
人口

◆人口の推移 (単位 / 人)

世帯数 164,963世帯



◆年齢別人口 (単位 / 人)



◆外国人住民 (単位 / 人)

	平成元年度	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成25年度	平成30年度
総数	847	1,792	1,792	3,047	4,178	3,978	5,530
中国	186	368	368	831	1,562	1,424	1,437
フィリピン	—	—	—	674	735	691	881
ベトナム	—	—	—	—	—	—	837
韓国及び朝鮮	455	515	515	526	652	606	462
ブラジル	—	—	—	293	380	259	279
その他	206	909	909	723	849	998	1,634

平成30年度 市民課

道路・交通

◆自動車・二輪車保有台数 (単位 / 台)

普通自動車	192,386
軽自動車	103,623
小型二輪車 (251cc以上)	6,109

◆JR各駅1日平均乗車人員数 (単位 / 人)

高崎駅	29,960
北高崎駅	1,580
群馬八幡駅	1,096
井野駅	2,102
高崎問屋町駅	3,514
倉賀野駅	1,808
新町駅	3,689

◆高速道路インター利用状況 (単位 / 台)



●高崎インター(関越自動車道)	
入車	2,892,299
出車	2,962,450
●高崎・玉村インター(関越自動車道)	
入車	1,267,454
出車	1,301,822
●吉井インター(上信越自動車道)	
入車	699,765
出車	679,798

◆上信電鉄1日平均乗車人員数 (単位 / 人)

上信高崎駅	2,215
-------	-------

平成29年度 高崎市の統計

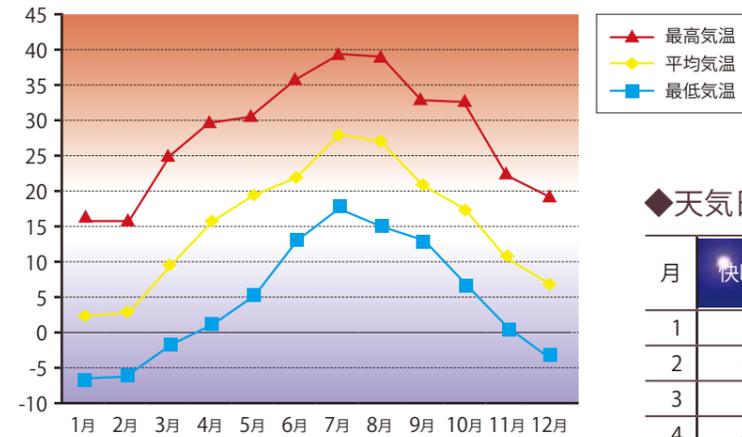
位置・広さ

●市役所の位置	東経 139° 00'
	北緯 36° 19'
●海拔	97.1m
●面積	459.16km ²



気候

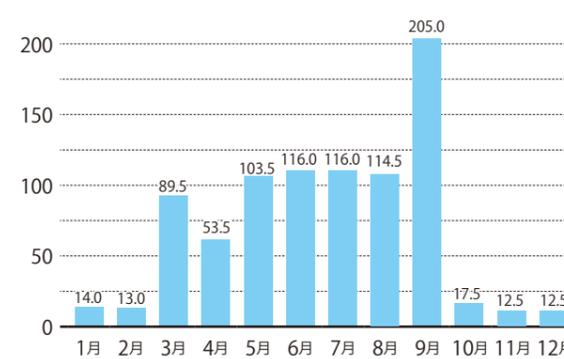
◆気温 (単位 / °C)



◆天気日数 (単位 / 日)

月	快晴	晴	曇	雨	雪
1	5	20	6	0	0
2	9	11	7	0	1
3	5	15	9	0	2
4	4	15	8	3	0
5	3	15	11	2	0
6	3	14	8	5	0
7	2	19	7	3	0
8	1	21	8	1	0
9	0	10	11	9	0
10	2	15	14	0	0
11	7	18	4	1	0
12	3	20	7	1	0
計	44	193	100	25	3

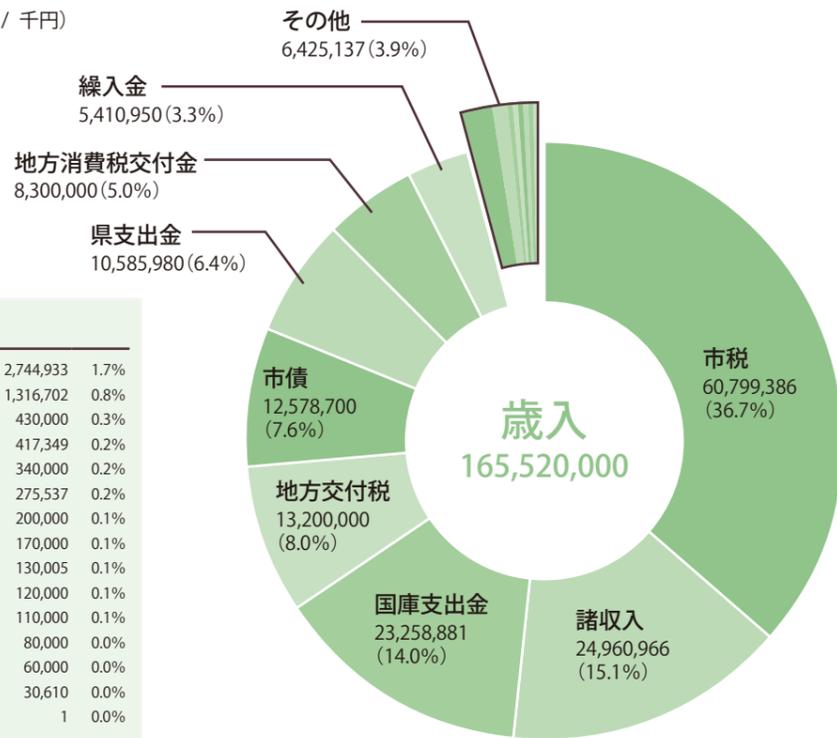
◆降水量 (単位 / mm)



平成30年 高崎市等広域消防局

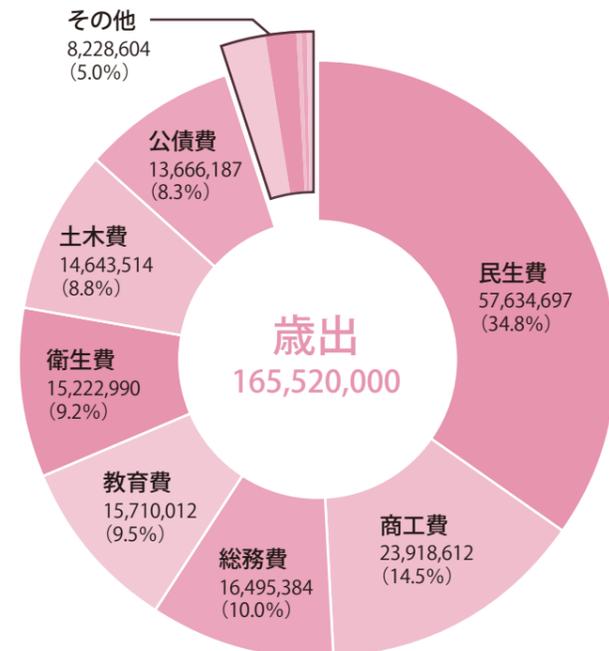
財政

一般会計の内訳 (単位 / 千円)



その他(内訳)

項目	金額 (千円)	割合 (%)
使用料及び手数料	2,744,933	1.7%
地方譲与税	1,316,702	0.8%
地方特例交付金	430,000	0.3%
分担金及び負担金	417,349	0.2%
法人事業税交付金	340,000	0.2%
財産収入	275,537	0.2%
配当割交付金	200,000	0.1%
環境性能割交付金	170,000	0.1%
寄附金	130,005	0.1%
ゴルフ場利用税交付金	120,000	0.1%
株式等譲渡所得割交付金	110,000	0.1%
交通安全対策特別交付金	80,000	0.0%
利子割交付金	60,000	0.0%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	30,610	0.0%
繰越金	1	0.0%



その他(内訳)

項目	金額 (千円)	割合 (%)
消防費	4,530,731	2.7%
農林水産業費	2,554,534	1.5%
議会費	696,100	0.4%
予備費	300,000	0.2%
労働費	147,234	0.1%
災害復旧費	5	0.0%

1人あたり・1世帯あたり 予算額(単位/円)		1人あたり・1世帯あたり 市税負担額(単位/円)	
1人あたり予算額	443,618	1人あたり市税負担額	162,951
1世帯あたり予算額	996,796	1世帯あたり市税負担額	366,147

令和元年12月31日

産業

高崎市の工業の概況

産業中分類	事業所数(社)	従業員数(人)	製造品出荷額等(万円)
市計	679	25,317	74,040,032
重化学工業	393	15,846	48,448,497 (石油・石炭含まず)
化学	18	1,459	17,186,205
石油・石炭	1	6	×
鉄鋼	11	605	2,575,843
非鉄金属	14	553	931,340
金属製品	107	2,927	5,817,653
はん用機器	25	2,580	4,962,314
生産用機器	79	1,796	3,374,172
業務用機器	15	740	1,241,858
電子部品	21	1,800	5,920,174
電気機器	48	1,672	3,735,653
情報通信	5	73	75,553
輸送機器	49	1,635	2,627,732
軽工業	286	9,471	25,397,272 (皮革含まず)
食料品	77	5,767	15,964,349
飲料・飼料	10	531	3,734,999
繊維	16	157	126,219
木材	9	107	162,623
家具	21	188	226,771
パルプ・紙	18	383	974,118
印刷	26	568	1,061,894
プラスチック	43	833	1,442,658
ゴム製品	8	201	245,779
皮革	2	53	×
窯業・土石	21	335	967,398
その他	35	348	490,464

平成26年度 工業統計調査

産業構造別 (単位 / 人)

就業人口構成比

産業	人数	割合 (%)
第一次産業	5,025	2.92%
第二次産業	47,889	27.83%
第三次産業	119,159※	69.25%
計	172,073	

平成27年10月1日
※分類不能は除く

高崎市の農業の概要

専業別農家数(単位/軒)

総農家数	3,460
専業農家	1,297
兼業農家	2,163

経営耕地面積(単位/ha)

総面積	3,741
田	1,812
畑	1,340
樹園地	589

平成27年2月1日 農林業センサス

高崎市の林業の概要

保有山林面積(単位/ha)

総面積	308,424
-----	---------

経営形態(単位/経営体)

法人	15
地方公共団体・財産区	1
家族経営・法人化していない	113

平成27年2月1日 農林業センサス

高崎市の卸売業、小売業の概況

産業中分類	商店数(軒)	従業員数(人)	年間商品販売額(万円)
市計	3,371	28,711	269,106,181
卸売業計	954	10,113	224,871,914
各種商品卸売業	6	96	737,219
繊維・衣服等卸売業	38	271	1,057,317
飲食料品卸売業	198	1,841	16,413,356
建築材料・鉱物・金属材料等卸売業	223	1,658	19,431,162
機械器具卸売業	284	4,076	166,820,871
その他の卸売業	205	2,171	20,411,989
小売業計	2,417	18,598	44,234,267
各種商品小売業	13	1,205	4,355,004
繊維・衣服・身の回り品小売業	320	1,745	2,986,966
飲食料品小売業	654	6,869	9,992,872
自動車・自転車機械器具小売業	328	2,507	11,717,092
その他の小売業	1,102	6,272	15,182,333

平成26年度 経済センサス活動調査

文化が息づく街
スポーツの力、市民の力
広がる高崎ブランド
変革を続ける都市力
暮らしに心地良さを

主な施設

高崎市役所(本庁)	高崎市高松町35-1	027-321-1111	かみつけの里博物館	高崎市井出町1514	027-373-8880
倉淵支所	高崎市倉淵町三ノ倉303	027-378-3111	高崎市榛名歴史民俗資料館	高崎市榛名山町138-1	027-374-9761
箕郷支所	高崎市箕郷町西明屋702-4	027-371-5111	多胡碑記念館	高崎市吉井町池1085	027-387-4928
群馬支所	高崎市足門町1658	027-373-1211	吉井郷土資料館	高崎市吉井町吉井285	027-387-5235
新町支所	高崎市新町3152-1	0274-42-1234	倉賀野古商家おもてなし館	高崎市倉賀野町2010-6	027-381-5311
榛名支所	高崎市下室田町900-1	027-374-5111	観音山キャンプパーク・ジョイナス	高崎市乗附町4045	027-328-6600
吉井支所	高崎市吉井町吉井川371	027-387-3111	くらぶち英語村	高崎市倉淵町川浦1414-1	027-384-4508
倉賀野市民サービスセンター	高崎市倉賀野町1900-12	027-320-2133	市民活動センター・ソシアス	高崎市足門町1669-2	027-329-7114
六郷市民サービスセンター	高崎市下小島町76-5	027-360-3130	高崎電気館	高崎市柳川町31	027-395-0483
片岡市民サービスセンター	高崎市石原町3892-7	027-320-1019	市立中央図書館	高崎市高松町5-28	027-322-7919
京ヶ島市民サービスセンター	高崎市矢島町229	027-360-5012	市立箕郷図書館	高崎市箕郷町西明屋299-1	027-371-4486
中川市民サービスセンター	高崎市井野町1060-1	027-360-3008	市立群馬図書館	高崎市足門町1667-1	027-372-6644
八幡市民サービスセンター	高崎市藤塚町187-1	027-320-1218	市立新町図書館	高崎市新町3126	0274-42-3100
中居市民サービスセンター	高崎市中居町3-28-2	027-353-3600	市立榛名図書館	高崎市下室田町900-4	027-374-2212
南八幡市民サービスセンター	高崎市山名町155	027-347-8787	山種記念吉井図書館	高崎市吉井町吉井285-5	027-387-7249
高崎駅市民サービスセンター	高崎市八島町222	027-330-3434	中央公民館	高崎市末広町29	027-322-5071
箕郷保健センター	高崎市箕郷町西明屋421-7	027-371-9060	高崎市等広域消防局	高崎市八千代町1-13-10	027-322-2391
群馬保健センター	高崎市足門町1658	027-373-2764	総合福祉センター	高崎市末広町115-1	027-370-8822
新町保健センター	高崎市新町3154-2	0274-42-1241	ハーモニー高崎ケアセンター	高崎市柴崎町1746-1	027-346-8109
榛名・倉淵保健センター	高崎市上里見1072-1	027-374-4700	吉井福祉センター	高崎市吉井町吉井495	027-381-8330
吉井保健センター	高崎市吉井町吉井472	027-387-1201	南八幡ふれあい館	高崎市山名町155	027-347-8788
高崎市総合保健センター	高崎市高松町5-28	027-381-6111	倉淵福祉センター	高崎市倉淵町岩氷19-1	027-378-3440
高崎総合医療センター	高崎市高松町36	027-322-5901	箕郷福祉会館エスポワール	高崎市箕郷町生原74	027-371-6868
高崎芸術劇場	高崎市栄町9-1	027-321-7300	群馬福祉会館	高崎市棟高町977-1	027-350-3200
群馬音楽センター	高崎市高松町28-2	027-322-4527	榛名福祉会館	高崎市下室田町900-4	027-340-5350
高崎シティギャラリー	高崎市高松町35-1	027-328-5050	シルバースセンター田町	高崎市田町71	027-393-6105
高崎市少年科学館	高崎市末広町23-1	027-321-0323	子育てなんでもセンター	高崎市田町71	027-393-6101
高崎市文化会館	高崎市末広町23-1	027-325-0681	城南野球場	高崎市下和田町2-12	027-322-4135
箕郷文化会館	高崎市箕郷町生原922-1	027-371-7211	高崎市ソフトボール場	高崎市井出町926-2	027-393-6571
新町文化ホール	高崎市新町3190-1	0274-42-9133	浜川競技場	高崎市浜川町1486	027-344-1855
榛名文化会館(エコー)	高崎市上里見町1072-1	027-374-5001	高崎アリーナ	高崎市下和田町4-1-18	027-329-5447
吉井文化会館	高崎市吉井町吉井285-2	027-387-3211	中央体育館	高崎市栄町11-1	027-322-0267
TAGO STUDIO TAKASAKI	高崎市あら町5-3	027-395-0044	浜川体育館	高崎市浜川町1487	027-344-1551
高崎市美術館	高崎市八島町110-27	027-324-6125	浜川運動公園	高崎市浜川町1487	027-344-1855
高崎市タワー美術館	高崎市栄町3-23	027-330-3773	観音山公園	高崎市石原町2740-2	027-386-9005
高崎市山田かまち美術館	高崎市片岡町3-23-5	027-321-0077	くらぶちこども天文台	高崎市倉淵町水沼2930	027-386-6837
群馬県立近代美術館	高崎市綿貫町992-1	027-346-5560	相間川温泉「ふれあい館」	高崎市倉淵町水沼27	027-378-3834
群馬県立歴史博物館	高崎市綿貫町992-1	027-346-5522	はまゆう山荘	高崎市倉淵町川浦27-80	027-378-2333
高崎市染料植物園	高崎市寺尾町2302-11	027-328-6808	榛名湖温泉ゆうすげ元湯	高崎市榛名湖町846-3	027-374-9211
高崎市歴史民俗資料館	高崎市上滝町1058	027-352-1261	牛伏ドリームセンター	高崎市吉井町多比良4373-1	027-387-9111
高崎市観音塚考古資料館	高崎市八幡町800-144	027-343-2256	吉井物産センターふれあいの里	高崎市吉井町池1944-4	027-388-3600
群馬県立土屋文明記念文学館	高崎市保渡町2000	027-373-7721	道の駅「くらぶち小栗の里」	高崎市倉淵町三ノ倉296-1	027-384-8282
群馬県立日本絹の里	高崎市金古町888-1	027-360-6300			

高崎市市勢要覧 2020

発行日 2020年 4月1日
 発行人 高崎市総務部広報広聴課
 〒 370-8501 群馬県高崎市高松町 35 番地 1
 TEL:027-321-1111(代表) / FAX:027-327-6470
 E-mail kouhou@city.takasaki.gunma.jp
 URL http://www.city.takasaki.gunma.jp/



